

令和5年度 学校評価

清園中学校区

自己評価報告書



「学び」のすべてがここにある!



清園中学校区小中連携スローガン(芯柱)

利他共生 ~ for you, with you ~

令和5年度

学校（自己）評価報告書

岩見沢市立志文小学校

推進校	岩見沢市立志文小学校							
校長名	袖野実佳				教職員数	27名		
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	2	1	1	1	1	2	4	12(4)
児童数	41	27	27	35	27	42	6	205
住所	岩見沢市志文町161-1							
電話	0126-22-4689							
FAX	0126-22-9884							
E-mail	shibuns@edu.hamanasu.com							

I 学校の教育目標

学校教育目標

《考える子ども》広い視野から問題を捉え、意欲を持って問題解決できる子ども
《がんばる子ども》自己や集団の目標実現のため、強い意志をもって粘り強くやり抜く子ども
《励まし合う子ども》認め合い、磨き合って、自己や集団を高めていく子ども

II 中期及び単年度の具体的目標

1. 学校教育の基調

新型コロナウイルス感染の拡大により、社会は劇的に変化し、予測が困難な時代を迎えている。我が国は、「Society5.0」を提唱し、最先端の科学技術を基盤に社会課題を構築し、世界の持続的発展に貢献するとともに、先端科学技術と社会が調和した「誰一人取り残さない」社会（インクルーシブ社会）を実現することが急務となっている。

このような時代にあって、学校教育には、子どもたちが不確実な変化に主体的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し、正確に取り扱い再構成するなどして新たな価値を見いだしていくこと、ICTを駆使するなどして不確実な状況変化の中で協働的に目的を成し遂げることが求められている。

本校が所在する岩見沢市は、「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」を目標に掲げ、魅力ある都市作りによって空知管内からの人口流入を受けているものの、札幌市への進学希望者が増え、高等学校の再編が控えている。

令和3年度には、清園中学校区で南ブロックSMSプロジェクトを立ち上げ、義務教育の9年間をより一層充実させるために、スローガンを「利他共生」と掲げた。3校で児童生徒の自己有用感を高める教育活動を推進するために、小中連携はもちろん小小連携も進めている。また、「子どもと創る授業づくり」を3校連携の柱に据え、教職員が主体的に授業づくりに取り組んでいる。また、令和4年度には、コミュニティ・エリア構想を実現させ、強固な地域との結びつきを再構築するために清園中学校区学校運営協議会を立ち上げた。Society5.0時代の要請と地域社会の信頼に応え、地域社会と共に、未来に向けて充実した学校の教育活動を推し進める。

2. 清園中学校区3校連携スローガン

- ◆ 利他共生 — for you , with you —
- ◆ 15歳を迎えた清園中生徒の姿

「自分には、よいところがある」と力強く言える生徒にスローガンに掲げた「利他」とは誰かのために自分を生かすこと、「共生」は共に生きることである。誰かの役にたった、誰かに喜んでもらえた等、他者との関係の中で育まれる「自己有用感」に着目し芯柱にすえた。他者と協働する教育活動の中で自己有用感を高めることが出来れば、自己肯定感(自尊感情)の獲得につながり、ありのままの自分を受け入れ、未来の可能性を信じ挑戦できる児童生徒を育むことが出来るのではないだろうか。

清園中学校区3校は、仲間との絆を強くし、互いを尊重して認め合い、助け合い、決していじめなどのない居心地の良い学校づくりによって「自己有用感」を高めることを目指します。

3. 志文小学校学校教育目標

創造力・実践力に富んだ人間性豊かな子の育成

【考える子ども】

・基本の大切さを知り、自分の可能性を信じ、主体的に学びに向かい、

他者と協働して課題を解決しようとする子ども

【がんばる子ども】

・自己肯定感を持ち、やり抜く力や健康で基礎的な体力を備えたへこたれない子ども

【励まし合う子ども】

・自己有用感を高め、創造力豊かに他者と協働し、自分自身や集団を向上させようとする子ども

※自己肯定感～ありのままの自分を肯定的に受け止めることのできる感情をさす。

自己有用感～誰かの役に立っている、貢献している等自分が有用であると思える感情をさす。

4, 経営方針

- (1) ブロックや分掌、各特別委員会等の活動を充実させ、組織的な学校経営を進める。
- (2) 児童一人一人の発達課題に寄り添った積極的な生活指導を行う。
- (3) 支持的・親和的な学級経営を基盤に日常授業で未来につながる資質・能力を育む。
- (4) 保護者や地域との連携を大切にし、子どもの姿で説明責任を果たす。

5, 学校経営の重点

最上位の目標は「教育は人を育てることを通して未来を創造する営みである」ことをふまえ、「未来の社会でよりよく生きていくための資質・能力を育む」ことである。コロナ禍の社会は、まさしく予測が困難な社会であり、劇的に変化している。変化の渦の中、多様な考え、多様な価値観がぶつかりあう社会情勢の中で、私たち教職員には、「子どもたちがよりよく生きるために必要な力とは何か。」を組織として見出しながら教育活動を行っていくことが求められている。「子どもたちがよりよく生きるために必要な力とは何か」を見出すには、授業観や指導観を日々見つめ直し、日常的に教職員間の関わり、教師と子どもとの関わり、教師と保護者との関わり、教師と地域住民との関わりを丁寧に行いながら、子どもを取り巻く人々が「新しい時代に対応できる力とは何か」を常に問い続けていかなければならない。

志文小学校の強みは、素直で明朗な児童と豊かな地域素材、そして地域人材や保護者にある。各学年30～45人の在籍で1学級と2学級が混在しているものの、工夫することで十分な体験活動や外部の人材を活用した豊かな学びを展開させることができる。地域資源に目を向けると、岩見沢の特産にかかわる場所や協力をしたいという

思いを秘めている人々等のリソースにあふれていることがわかる。また、教職員にあっても全校の児童を知り、全教職員で全児童の指導や成長に関わることができる学校規模と言える。一方、個性や考え方を固定化され、自由な発想や新たな挑戦を表明しにくくなると、自己肯定感や自己有用感が低くなる可能性が高くなる。

目の前にいる子どもたちが、未来を豊かにしなやかに生きぬくために、「私たちは、子どもの未来にふれている」ことを胸に学校教育活動を構築し、よりよい社会で幸せになるための教育実践を推進し、全教職員で志文小学校のすべての子どもたちの幸せな未来を目指し協働体制をとって教育活動を実践しなければならない。

■学校経営の重点目標

① 「子どもと創る授業」の日常授業実践

- ・子どもの主体的な学びの姿勢を活かした「子どもと創る授業」へ質的転換を図り、志文小学校として全教職員が「子どもと創る授業」を目指すという共通の授業観に立ち、授業実践を図る。
- ・発達段階に応じた「学習スキル」を確実に定着させ、「学びの形成」を高める授業を全教職員で取り組む。
- ・「学びの形成」を高めるための支持的・親和的な学校風土を「傾聴・受容・共感」の児童理解を基に創り上げる。
- ・一人一台端末の活用推進とよりよく生きるための情報活用能力の育成を図る。
- ・教育課程にSDGsを位置づけ、社会の構成員として自分自身の学びを活かしていく姿勢を育む。

② SMS 南ブロックプロジェクトの一層の推進

—清園中学校区連携スローガン“利他共生 for you with you”—

- ・清園中学校区三校の児童生徒が自己有用感を高めることを共通目標に各校の特色を活かしながら教育活動を展開する。
- ・全教職員が「授業づくりグループ」と「利他共生グループ」のどちらかに所属し、児童生徒の自己有用感を高めるための教育活動を主体的に展開する。
- ・義務教育9年間を見通した教育課程を編成し、未来の社会でよりよく生きていくための資質・能力【自己有用感の向上】を発達段階に合わせて育む。
- ・SMS3校の教職員集団全員で、清園中学校区の児童生徒全員を育む意識を醸成する。
- ・SMS3校の児童会・生徒会の連携した活動を展開する。

③ コミュニティ・エリアを充実させ、地域で学び、認められ、輝く子どもたちの育成

- ・学校運営協議会で、目指す三校の姿を具体的に提示し、地域と共に「社会に開かれた教育課程」を実現させる。
- ・学校運営協議会と連携し、地域と共に地域資源を活用したり、地域人材と活動したりする教育活動を展開する。
- ・地域コーディネーターの配置と活用を図る。

④ 組織的な学校運営の推進

- ・学校課題の解決を、調整会議を中心に校内特別委員会を活用し、常に複数体制で業務推進を図る。
- ・各種調査に基づく PDCA サイクルを適切に推進する。
- ・絶え間ない業務改善に取り組み、子どもと向き合う時間の確保を優先する。

6, 具体的施策

(1) 新しい時代に対応できる力の育成

① 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業づくり

- ・「子どもと創る授業」の授業観の統一と実践
- ・発達段階に合わせた「学習スキル」の向上

- ・学力の現状分析と数値目標の設定及びその達成に向けた具体策(学びの時間)の実施
- ・授業との連携を図った自主的な家庭学習(けてぶれ学習法)の充実による学習習慣の定着
- ②自己の成長を実感し、誰もが達成感を持てる授業づくり
 - ・子どもが自己肯定感を高め、次の学びへとつなげる体験活動の充実
 - ・生徒指導の機能を生かした、自己の変容が実感できる授業づくり
 - ・地域全体で子どもの学びを支援する学校・家庭・地域が連携・協働した取組の推進
 - ・キャリアパスポートを活用し自己の成長を振り返る活動の充実と地域・保護者との連携
- ③自ら未来を切り開いていくための力を育てる授業づくり
 - ・地域人材を活用し、地域資源を活用した「ふるさと教育」の推進
 - ・将来の生き方や望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育の推進
 - ・他者意識を育み、考えを伝え合う活動の充実
 - ・自らの判断で命を守ることができる力を育成する健康・安全教育の推進
- (2) 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進
 - ・新体力テストによる体力の実態把握と体力向上のための運動の習慣化
 - ・「傾聴・受容・共感」の学校風土の醸成と親和的で安心できる居場所づくり
 - ・教育相談や日常の相談活動を活用した児童、保護者との信頼関係の構築
 - ・「考え議論する道徳」の充実
- (3) 育ちと学びを支える教育環境の充実
 - ・全教職員による全児童の心に寄り添う指導の推進
 - ・「岩見沢市いじめ防止基本方針」「志文小学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめ対応の充実
 - ・子ども一人一人の能力や可能性を伸ばす特別支援教育の充実
 - ・キャリアステージやライフステージに応じた必要な資質・能力の育成をめざした教職員研修の充実
- (4) 信頼と期待に応える開かれた学校づくり
 - ・清園中学校区コミュニティ・エリア活動の充実(中学校卒業までを見通した教育活動への転換)
 - ・保護者や地域住民の思いを活かした教育活動・学校運営の改善・充実
 - ・学びの連続性を実現する保・幼・小・中・高・大と連携・協力した教育活動の推進
 - ・地域連携への積極的な意識改革(地域とのつながりを重視した授業実践・物的人的素材の活用等)
 - ・教育活動へ焦点化するための業務改善(学級事務の軽減の工夫)

IV 各種評価結果の考察

1. 全体的な傾向として

保護者アンケートにおいては「学校は学校便りなどを通じて、教育方針や教育内容などの子ども達の様子をわかりやすく伝えている」に対して肯定的な評価が95.8%、「学校は保護者との連携を積極的に行い、ほごしやからの連絡相談に対して適切に対応している。」も94.9%と昨年度同様に高評価となった。これは学校便りや学園通信などで子どもたちの様子を伝えたり、電話連絡や家庭訪問、面談などを適切な時期に行ったりしたことが要因と考える。今後、「tetoru」などのアプリを活用し、児童の様子を写真や動画でお知らせすることも視野に入れている。また、「学校は子どもを理解し、子どもが大切にされる学級づくりに取り組んでいる。」と「授業を工夫し、未来につながり、そこで役立つ力を育てている。」の項目もそれぞれ95.0%、90.7%と好評をいただ

いた。これらは「子ども達を徹底的に大切にする」姿勢と日常の授業改善に取り組んだ成果と考えている。これらの点は今後も継続発展させていくことを教職員で共通理解をしている。授業改善に関しては児童アンケートでも「先生方は色々な学び方を教えてくださいか。」も 93.3%と児童からも個に合った学習方法を学ぶことができている様子がうかがえる。

(1)学習面に関して

児童アンケートの「友達と協力したり、交流したりしながら学習を進めていますか。」において、肯定的な回答が78.7%、合わせて「先生方は色々な学び方を教えてくださいか。」も肯定的な回答が93.3%と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取り組みができていることが見てとれる。加えて、児童アンケートタブレットは学習に役立っていますか。」は95.8%、教職員アンケートの「ICTを授業へ有効活用することができた。」は肯定的な回答が100%となり、児童、教職員共に個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させてきていると考える。

(2)生活面に関して

児童アンケートの「地域の人に会ったら、あいさつをしていますか。」は肯定的な回答が89.2%と昨年より微減となったが、本校のストロングポイント評価をしつつ、継続的に指導を続けていきたい。加えて、「自分には良いところがある(役にたっている)と思いますか。」では、こちらも微減ではあるが61.1%であった。この点は清園中学校区の重点項目であるので、9年間を見通した指導を3校で連携して継続的に取り組んでいく必要がある。

(3)体力面に関して

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、全国平均を若干下回る結果となった。男女別に見ると、男子は立ち幅跳びが全国比を上回り、それ以外は全国平均を下回る結果となった。女子はシャトルラン、50m走以外はそれぞれ全国比を大きく上回る結果となった。男女ともにシャトルランと50m走が大きく下回ったことから、持久力と走力に課題があることがうかがえる。

児童アンケートの結果【2月実施】

		そう思う	まあそう思う	あまり思わない	そう思わない
1	学校は楽しいと思いますか。	48.7%	32.1%	13.5%	5.7%
2	友だちと仲良く生活していますか。	59.1%	33.7%	6.2%	1.0%
3	自分から進んで、主体的に学習を進めていますか。	26.9%	49.2%	17.6%	6.2%
4	「けてぶれ」を使って家庭学習をしていますか。	42.0%	33.2%	17.1%	7.8%
5	友達と協力したり、交流したりしながら、学習を進めていますか。	38.3%	40.4%	15.0%	6.2%
6	タブレットは学習に役立っていますか。	83.4%	12.4%	1.6%	2.6%
7	あなたは友達に親切にしていますか。	66.3%	27.5%	5.2%	1.0%
8	あなたが困っているときに、周りの友達は助けてくれますか。	48.7%	34.7%	11.9%	4.7%
9	自分には良いところがある(人の役に立っている)と思いますか。	17.1%	44.0%	21.2%	17.6%
10	地域の人にあったらあいさつをしていますか。	53.4%	35.8%	7.8%	3.1%
11	学級の当番や係活動、委員会などを進んでやっていますか。	49.2%	36.3%	9.8%	4.7%
12	あなたは学校であつたできごとを、お家の人に話していますか。	50.3%	29.5%	14.0%	6.2%
13	先生方は色々な学び方を教えてくれますか。	68.9%	24.4%	3.6%	3.1%
14	先生方は努力していることをほめてくれますか。	57.5%	34.2%	4.7%	3.6%
15	先生方にいじめや困っていることを相談できますか。	42.5%	31.6%	13.5%	12.4%

も不愉快な言葉を普通に？言い合う環境は改善してほしいな。と願っております。それらを言われて傷つく気持ち、周りが聞いて嫌だなと思う気持ちをそろそろ理解していかなければならないと思います。容姿に対する言葉も聞いたこともあります。そこをもう少し学んでくれたらと思っています！！

- ・お互いの苦手な部分を受け入れ合い助け合える心を持ってほしい。苦手だから自分と違うからとあからさまに避けるなどすることは今後の人間関係で良い方向に繋がるとは思えないし、いじめ、差別、仲間はずれに繋がると感じるからです。また、子どもたちをみているとお互いの苦手な部分だけに目がいきがちですが、お互いの素敵な部分を見つけられるようになってくれたら良いなと思います。いじめアンケートで友達の嫌な部分にどうしても目がいってしまいがちだと思うので生活相談などでは友達関係や学校生活で嬉しかったことなども聞き取れたら良いかもしれないなと感じます。
- ・担任の容姿や言葉遣いに子どもが敏感に感じているのを気づいてますか？参観日を拝見しても授業も見ているとわかりにくいし、優しくない印象があります。学習発表会も担任による差が出てました。また、ケブは低学年には難しいように思います。
- ・一部児童の学習態度が問題あると話を聞きました。律するところは律するような指導をお願いします

多様な考えや価値観を尊重し合う社会へと今、社会全体が変わってきていると考えます。学校でもお互いを受け入れ、尊重し合うことはとても大切であると考えています。今後ご家庭と連携を深めながら、子どもたちのため、同じ方向を向いて進んでいくことができると考えています。そして、信頼される学校であるよう、授業や指導改善を図っていきたいと考えています。

○ICTについて

- ・三学期から運用される「tetoru」とても嬉しいです。学校と保護者互いに楽になるとおもうので、導入ありがとうございました！
- ・もう少し学校での様子を知りたいです。なかなか聞ける機会がないので。
- ・お便りや連絡などプリントではなくスマホで確認できるようになって欲しいです。
- ・学校のタブレットでの、自宅での時間制限をしてほしい。

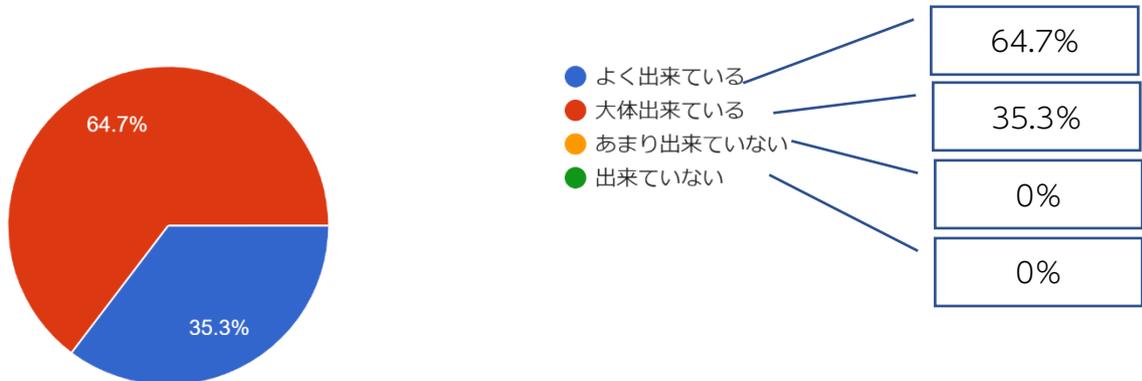
「tetoru」の導入に関わり、ご理解ご協力ありがとうございました。「tetoru」は出欠だけではなく、学校便りなどの通信も配信することが可能です。それを活用して学校での子どもたちの様子をお知らせすることが可能ですので、今後検討していきます。ご家庭でのタブレットの使用法は学校でも指導していますが、ご家庭でもルールを決めるなど、子どもたちと話し合っていただけると良いかと思えます。よろしくをお願いします。

教職員アンケートの結果



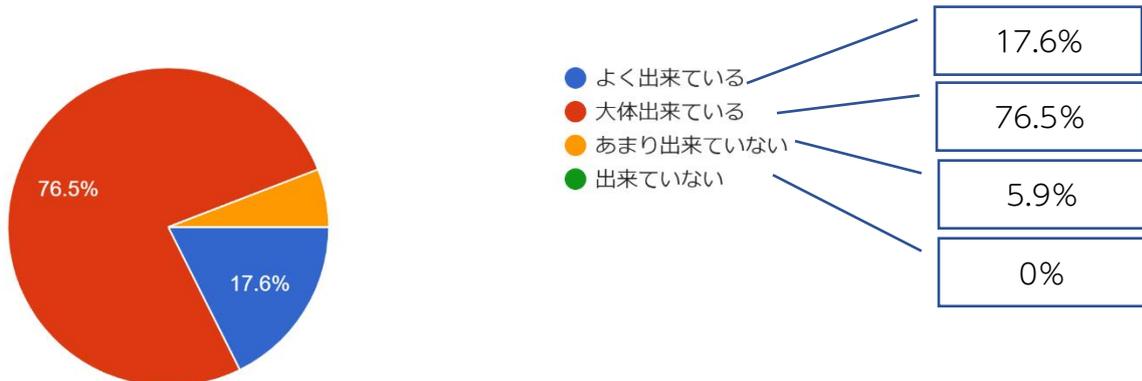
1. 学校教育目標を学年経営、学級経営に生かし、一貫した実践を心がけることができた。

17件の回答



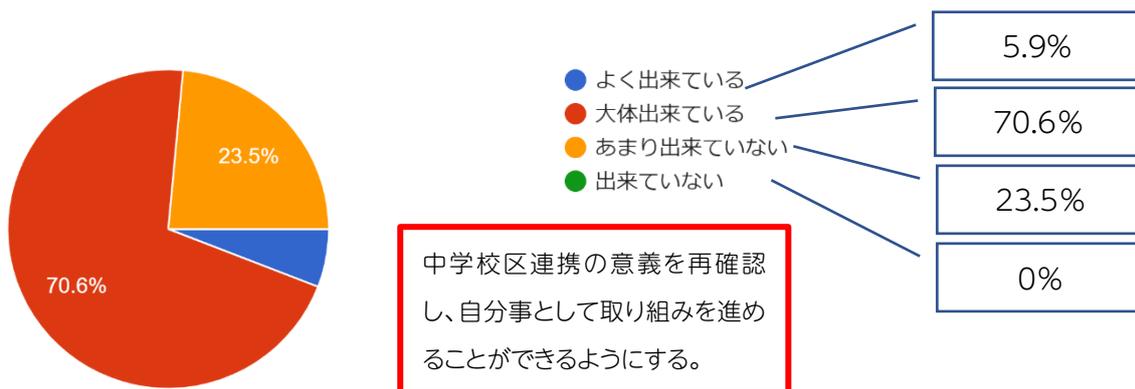
2. 教育目標の具現化のため、学年・学級の実態...せた教育課程を編成し、実施することができた。

17件の回答



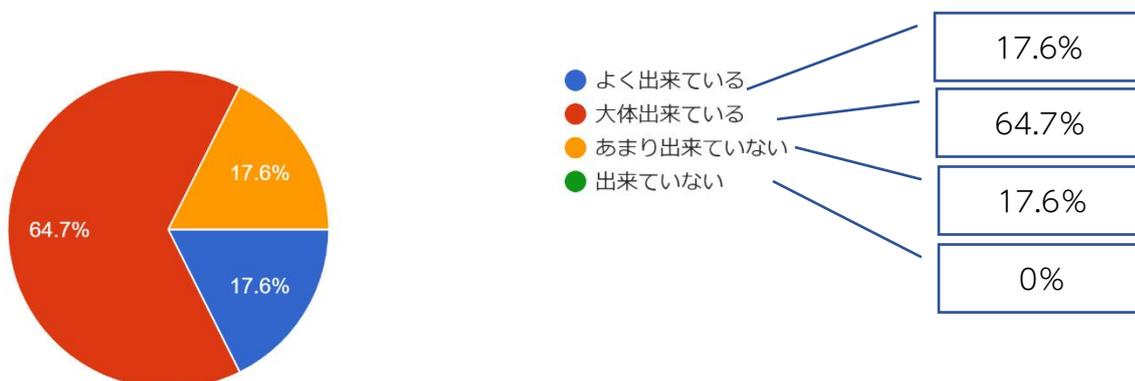
3. 「利他共生」のスローガンを実現させるため...ルを意識した教育活動を推進することができた。

17件の回答



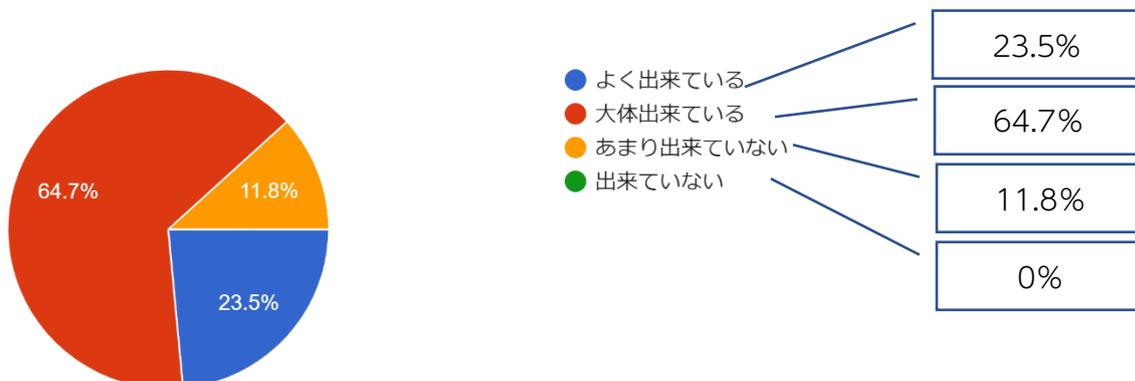
4. 「子どもと創る授業」の授業実践を積み重ね...な学び」をバランスよく実施することができた。

17件の回答



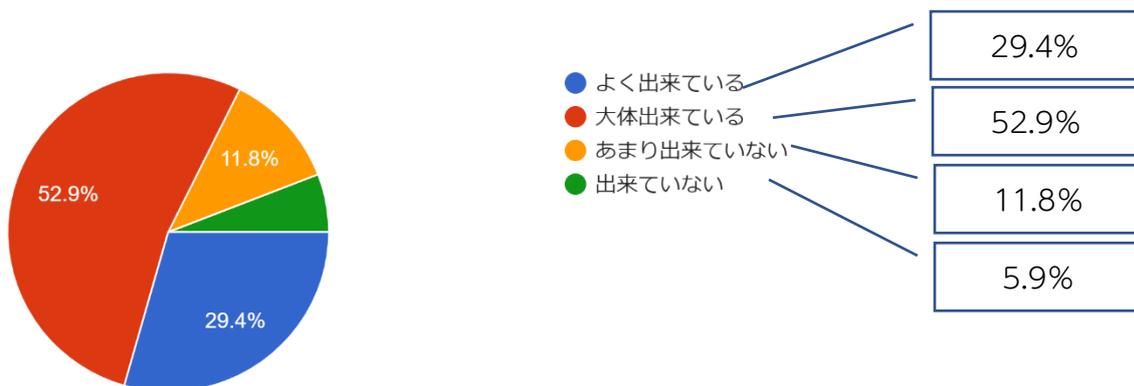
5. 他言語について体験的に理解させ、積極的に...うに学習内容を編成し、実施することができた。

17件の回答



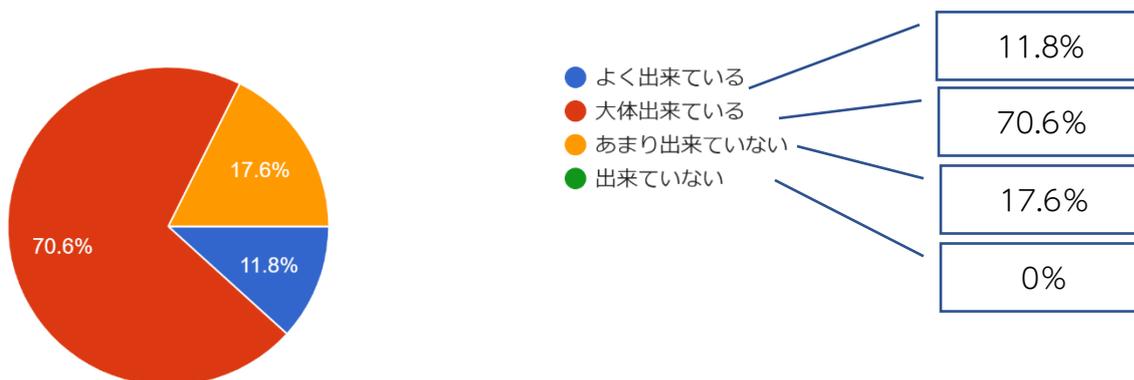
6. 総合的な学習の時間において、体験活動を行...解決する活動を計画し、実施することができた。

17件の回答



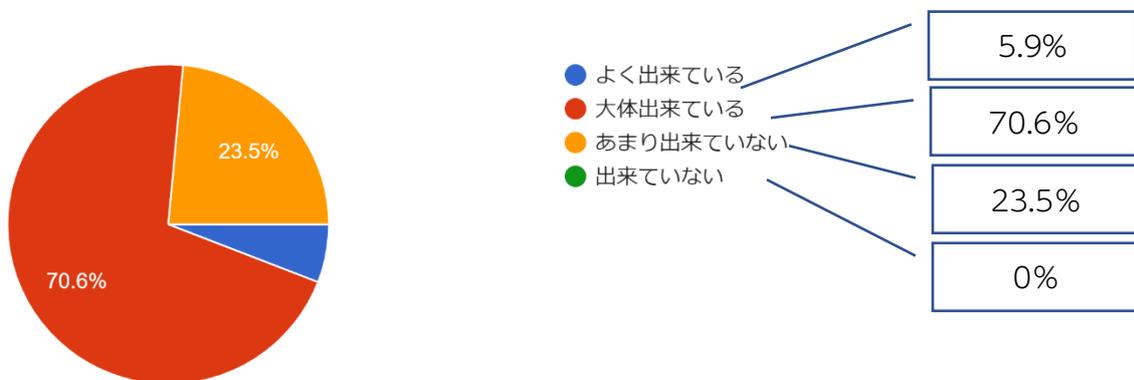
7. 考え、議論し、より良い生き方を見出す道徳の授業づくりを行うことができた。

17件の回答



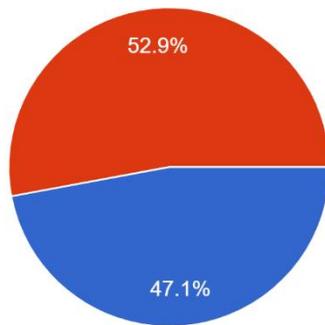
8. 体力テストの結果を踏まえ、児童一人一人に...習内容を編成し、体力向上を図ることができた。

17件の回答



9. ICTを授業へ有効活用することができた。

17件の回答



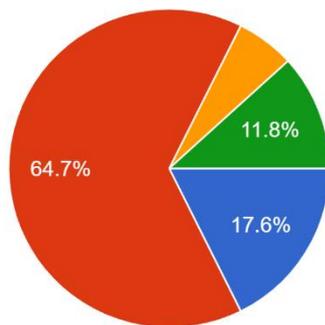
- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない

47.1%
52.9%
0%
0%

教員もICTを活用している様子が見える。今後も研修を進めて、さらに授業において活用できるように取り組みを進める。

10. 家庭学習（けてぶれ）の取り組みを進め、授業にいかすことができた。

17件の回答

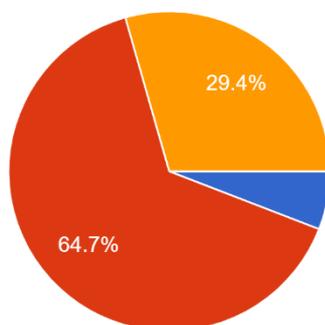


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない

17.6%
64.7%
5.9%
11.8%

11. キャリアパスポートを活用し、児童の成長や目標が見える指導を行うことができた。

17件の回答

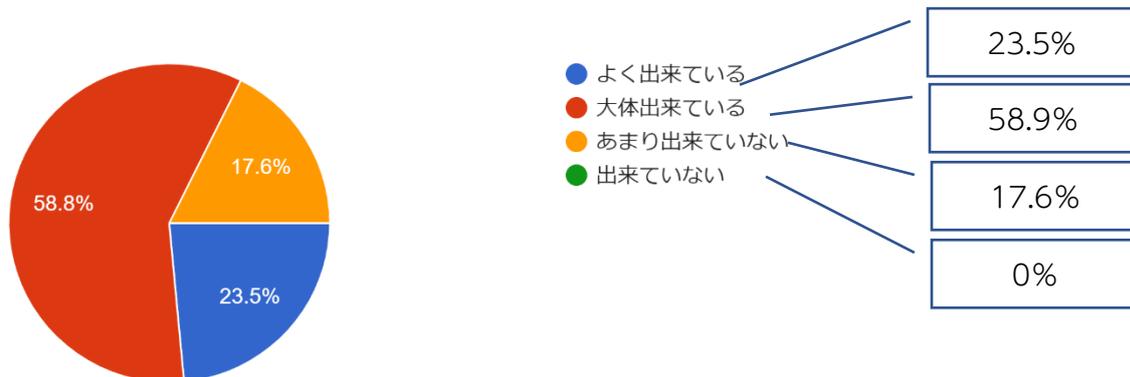


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない

5.9%
64.7%
29.4%
0%

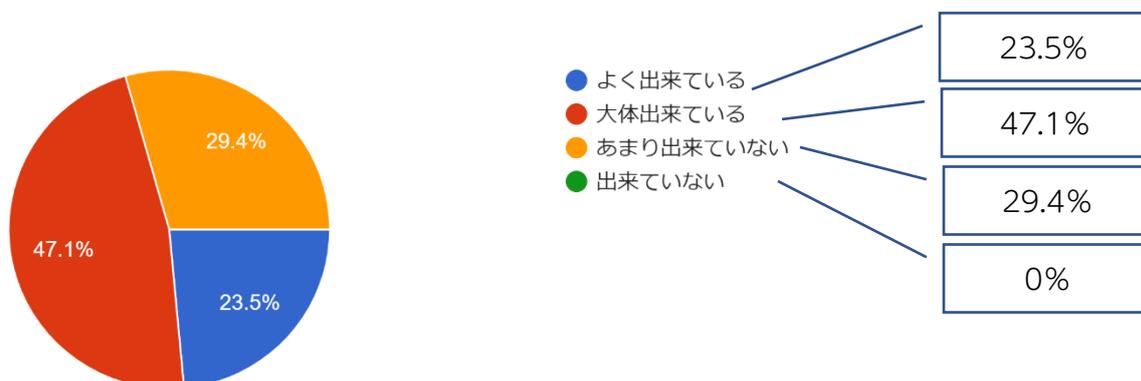
12. ピアサポートをベースとした、児童を大切にする学級経営を展開することができた。

17件の回答



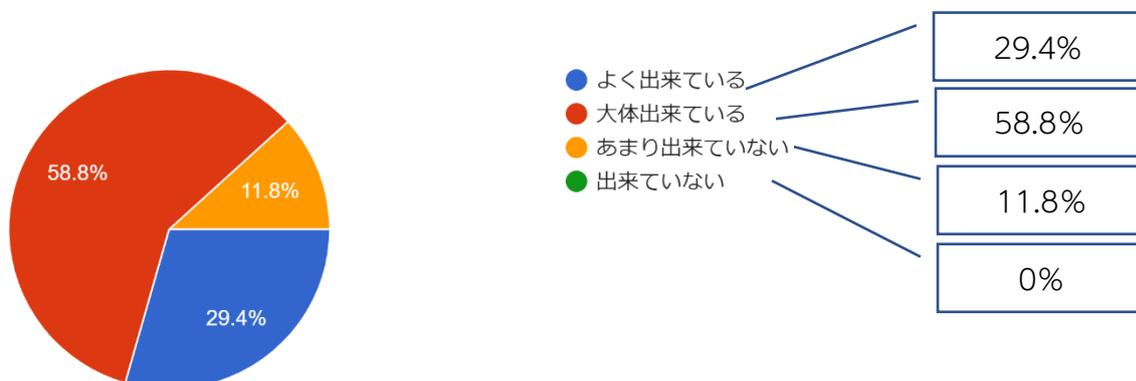
13. 学年や学級の打ち合わせに限らず、様々な...流し、共通理解の上で指導をすることができた。

17件の回答



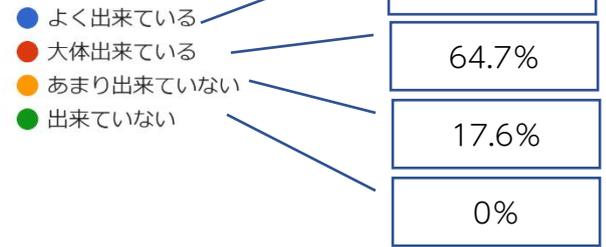
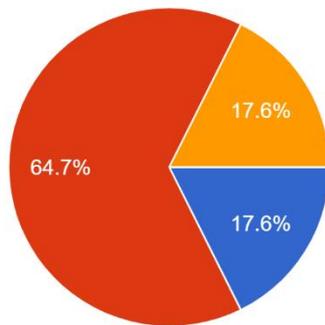
14. 問題行動や事故に関して、協力体制で対応し、必要に応じた報告・連絡・相談ができた。

17件の回答



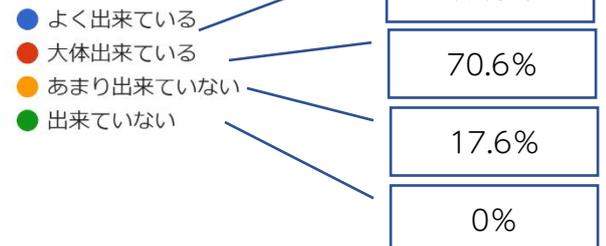
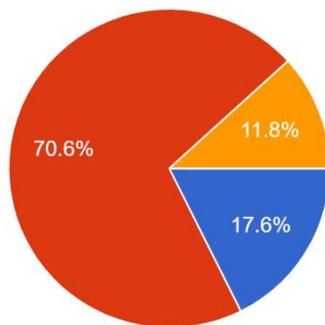
15. 児童の情報モラルやネットリテラシーに関する意識を高めるための指導することができた。

17件の回答



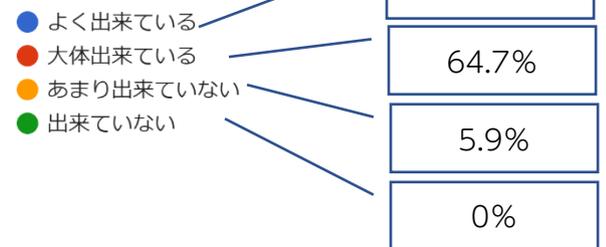
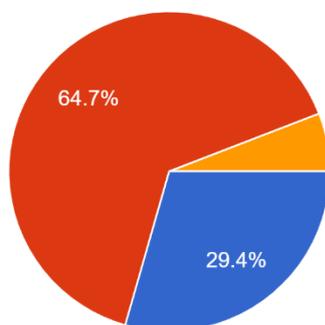
16. いじめやトラブルに対して、積極的にその...を持たせ、「支える指導」を行うことができた。

17件の回答



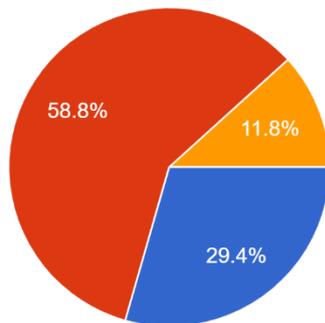
17. 自己の生命と安全を守るための指導や適切な感染症対策について指導することができた。

17件の回答



18. 校内研修に積極的に取り組んだり、自己研鑽のための研修に取り組んだりすることができた。

17件の回答



- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない

29.4%

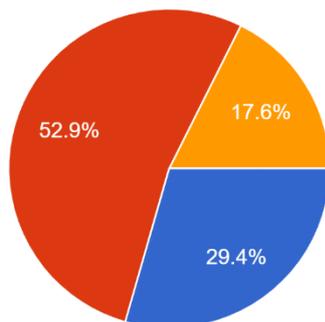
58.8%

11.8%

0%

19. 分掌の業務は担当が明確であり、部内で協力して業務を進めることができた。

17件の回答



- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない

29.4%

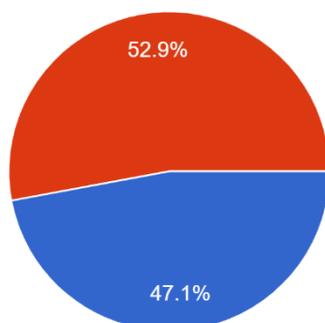
53.0%

17.6%

0%

20. 個人情報の管理を徹底することができた。

17件の回答



- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない

52.9%

47.1%

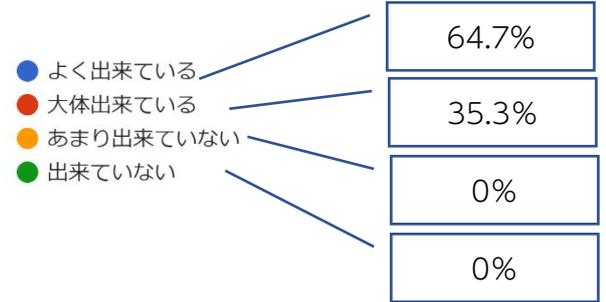
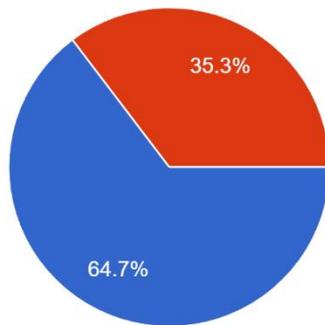
0%

0%

個人の意識の高まりを感じる事ができる数値となった。引き続き個人情報の管理の徹底に取り組む。

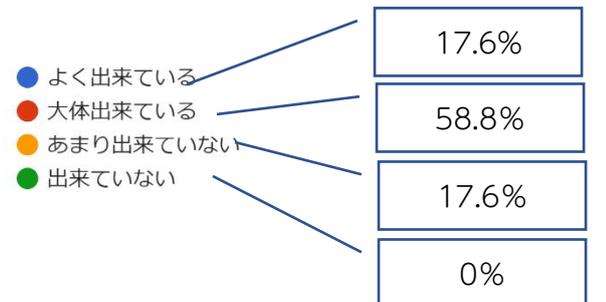
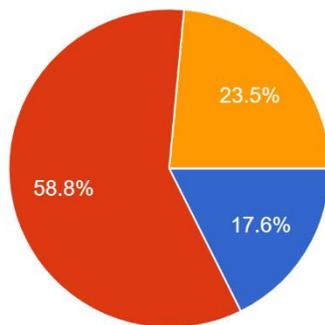
2 1. 指導要録等、諸帳簿等を適正に整理・管理することができた。

17件の回答



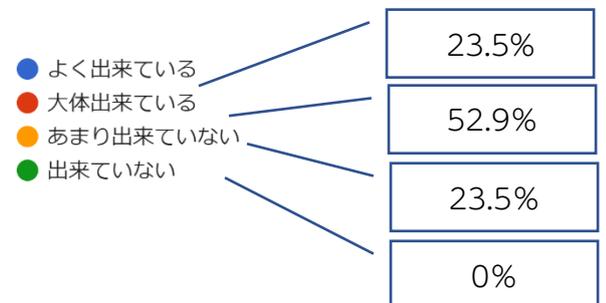
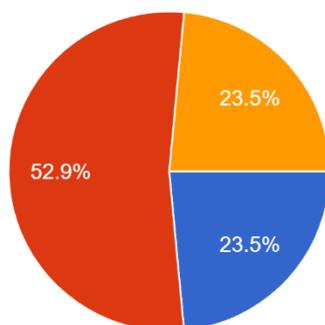
2 2. 効率の良い働き方を心がけるとともに、自身の校務を中心に業務改善に努めることができた。

17件の回答



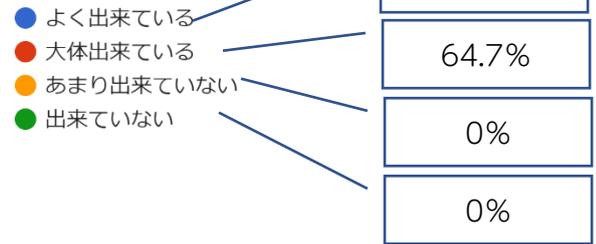
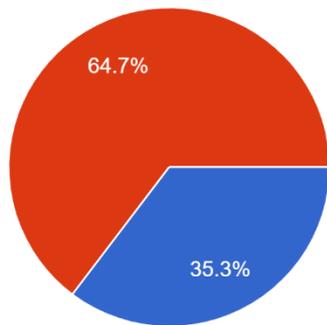
2 3. 組織の一員として働きやすい環境づくりに貢献することができた。

17件の回答



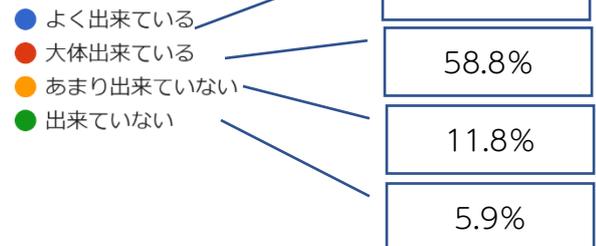
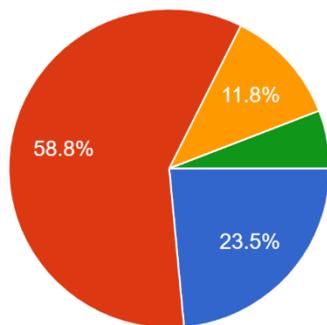
24. 保護者との信頼関係に基づく、連絡・相談体制の確立を図ることができた。

17件の回答

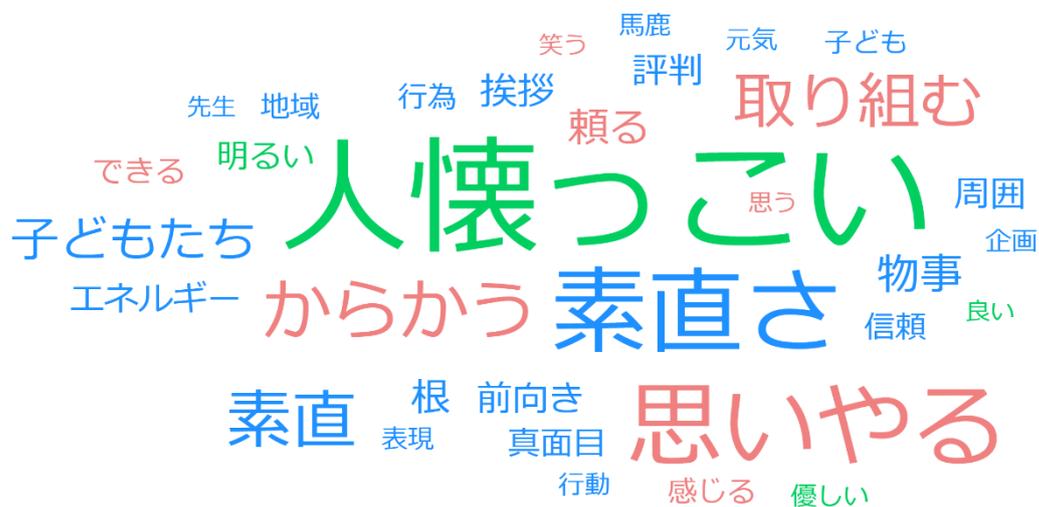


25. 中学校区の連携を深めるために、南ブロッ...エクト委員会に積極的に参加することができた。

17件の回答



26. 本校児童の良いところは？【教職員アンケート】



令和5年度（2023年度）

岩見沢市立メープル小学校学校評価報告書



【学校の概要】

学校名	岩見沢市立メープル小学校						
学校長	國行 宏昭			教職員数		10	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学級数	1		1		1		3
児童数	1	1	4	6	2	7	21
住所	岩見沢市上志文町107-1						
電話	0126-44-2205						
FAX	0126-44-2519						
URL	http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/school/maple/index.html						
Email	maples@edu.hamanasu.com（学校代表メール）						

I 学校教育目標

1. 校訓 理想の実現をめざす
2. 教育目標 一人一人が輝いて心豊かに育つメープルの子
 - 自ら学び、よく考え行動できる子ども
 - 豊かな感性と思いやりの心を持つ子ども
 - 体を鍛え、明るく元気に活動する子ども

3. 令和5年度学校経営スローガン

(1) 清園中学校区3校のスローガン

【15歳を迎えた清園中生徒の姿】 「自分には、よいところがある」と力強く言える生徒に
【清園中学校区3校連携スローガン】

『 利他共生 ～ for you , with you ～ 』

(2) めざす学校の姿・子どもの姿・教職員の姿

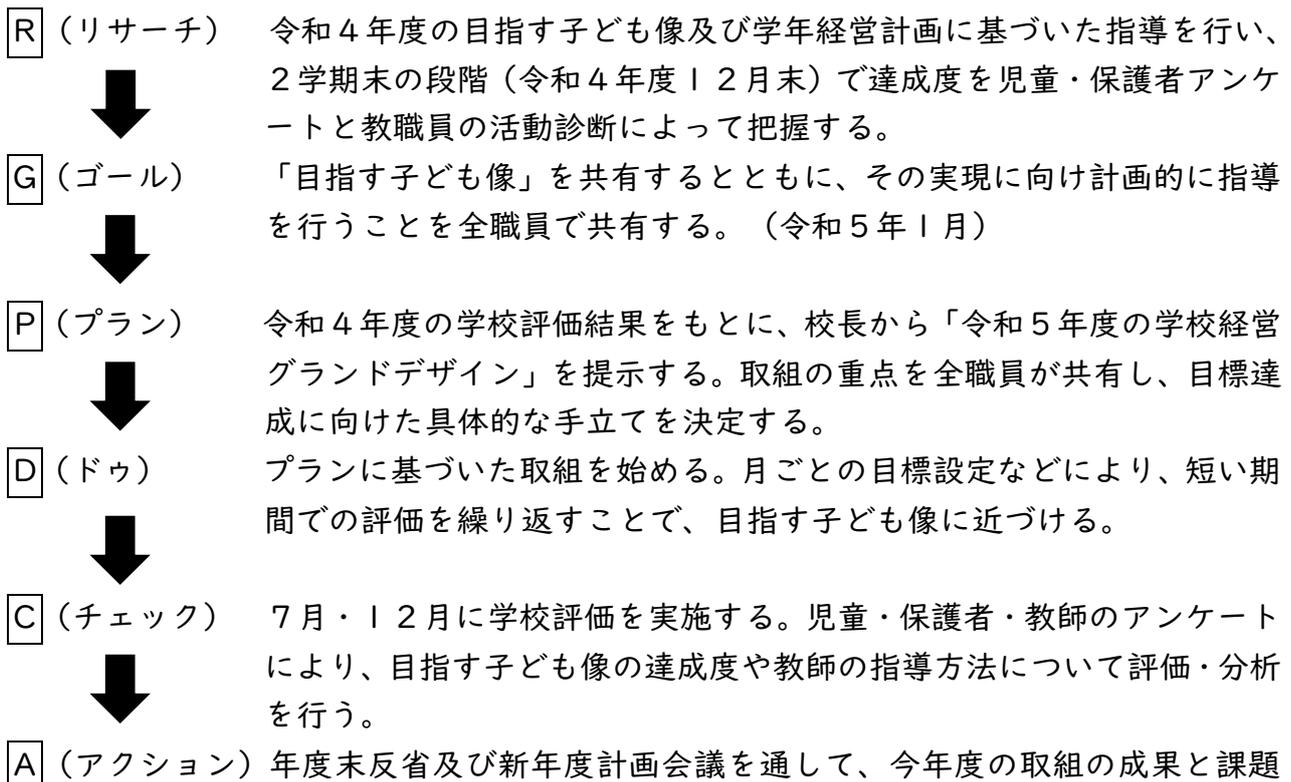
【学 校】 子どもが「自分で決められる」学校
(自律的な学習者を育てる学校)

【子ども】 「自分にはよいところがある」と言える子ども
・伝えられる子 ・つながる子 ・挑戦する子
・支える子 ・行動する子 ・ちがいを認められる子
・楽しめる子 ・決められる子 ・やり直せる子

【教職員】 なすべきことを協働により着実に実践、目標達成のために貢献する教職員

II めざす子ども像と学校評価の推進

1. 学校評価の流れ(学校マネジメント機能)



を明らかにし、令和6年度の重点を決定する。なお、3学期を令和6年度に向けた助走期間とする。

2. 【R】(リサーチ) ※下記は、令和5年度の各種調査結果

(1) 全国学力学習状況調査(6年) ※令和5年4月実施

	国語		算数	
	平均 正答率	全国比 (全国を100とした値)	平均 正答率	全国比 (全国を100とした値)
本校	67%	99.7	58%	92.8
全道	66%	98.2	61%	97.6
全国	67.2%	100	62.5%	100

標準化得点：全国の正答率を100とした割合

(2) 標準学力検査(NRT) ※令和5年4月実施

学年	2年	3年	4年	5年	6年
国語偏差値	62.0	46.3	47.0	43.0	42.2
算数偏差値	62.0	46.5	45.2	44.5	40.7

(3) 新体力テスト(全国体力・運動能力調査) ※6月

体力結果	A	B	C	D	F
全校割合	5%	15%	25%	45%	10%

3. 【G（ゴール）】目指す子ども像

教育目標実現に向けて、具体的なこども像を設定し、全教職員で共有した。また、目指す子ども像を学校評価の児童・保護者調査項目に設定して、学校評価を実施した。

	目指す子ども像の具体 (学校評価児童調査項目)	学校評価 肯定目標	令和5年度 到達目標
『利他共生』 自己有用感	自分には、よいところがあります。	80%	
『学習』 自ら学び、よく考え行動できる子ども	授業では、自分の考えや思いを発表しています。	85%	標準学力検査の結果、前年度より向上した児童を80%にする。(令和6年4月実施分)
	友達と伝え合ったり、協力したりしながら学習しています。	90%	
	わからない問題や難しい問題があっても挑戦しています。	80%	
『仲間』 豊かな感性と 思いやりの心 を持つ子ども	友達となかよく学習したり、遊んだりしています。	80%	hyperQ-Uにおいて、学級満足群を80%以上にする(令和5年6月実施)
	自分から明るく元気にあいさつをしています。	85%	
	学級やまわりの人のためになることを進んで取り組んでいます。	85%	
『身体』 体を鍛え、明るく元気に活動する子ども	運動を楽しんだり、体をつかった遊びを楽しんだりしています。	85%	全国体力・運動能力調査でA~Cの割合を75%以上にする(令和6年5月実施)
	事故や感染症から自分を守るための行動ができています。	80%	
	食事、睡眠など、生活リズムを整えた行動をしています。	80%	

この他に、学校改善を目的に、以下のように調査項目を設定している。

- ①先生は、あなたの努力やがんばりを認めてくれたり応援してくれたりします
- ②先生は、あなたの話を聞いてくれたり、相談にのってくれたりします。
- ③地域の人とふれあったり、まわりの自然を活かしたりした学習を楽しんでいます。
- ④外国語や外国語活動は楽しく学んでいます。
- ⑤学校の教室や図書コーナー、体育館などの施設は使いやすいです。

4. 【P (プラン)】 令和5年度 学校経営グランドデザイン (巻末の資料参照)

Ⅲ 学校評価結果

1. 児童調査結果

5段階評価平均値 (4.0未満を青で示している)

学校教育目標 (めざす子ども像)	学校評価調査項目	1学期児童	2学期児童
小中連携目標	自分には、よいところがある	3.7	3.8
自ら学び、よく考え行動できる子ども	【見】授業では、自分の考えや思いを発表している。	4.2	4.2
	【保】お子さんは、新たな知識や技能を身に付けることを楽しんでいる。		
	【教】児童が自らの考えや思いを発表する場面を積極的に設定し、発表する力を向上させた。		
	【見】友達と伝え合ったり、協力したりしながら学習している。	4.7	4.5
	【保】お子さんは、友達と伝え合ったり、協力したりしながら学習していることを楽しんでいる。		
	【教】授業の中に伝えあい等の場面を設定し、協力して学ぶ楽しさを伝えることができた。		
【見】わからない問題や難しい問題があっても挑戦している。	4.6	4.4	
【保】お子さんは、わからない問題や難しい問題があっても挑戦している。			
【教】難しい問題等に挑戦するように働きかけたことで、意欲的な児童の姿勢を生み出した。			
豊かな感性と思いやりの心を持つ子ども	【見】友達となかよく学習したり、遊んだりしている。	4.7	4.9
	【保】お子さんは、仲のよい友だちがいる。		
	【教】児童は、良好な人間関係の中で、生活をしていた。		
	【見】自分から明るく元気にあいさつをしている。	4.1	3.9
	【保】お子さんは、自分から明るく元気にあいさつをしている。		
	【教】教師自らが、積極的に挨拶などの声かけを行い、明るい雰囲気作りができていた。		
【見】学級やまわりの人のためになることを進んで取り組んでいる。	4.1	4.3	
【保】お子さんは、家族や地域など、まわりの人のためになることを進んで取り組んでいる。			
【教】児童の自発的な活動を促す声かけや指導を心がけた。			
体を鍛え、明るく元気に活動する子ども	【見】運動を楽しんだり、体をつかった遊びを楽しんだりしている。	4.3	4.5
	【保】お子さんは、運動を楽しんだり、体をつかった遊びを楽しんだりしている。		
	【教】時間がある時には、児童と運動をしたり遊んだりした。		
	【見】事故や感染症から自分を守るための行動ができている。	4.2	3.9
	【保】お子さんは、事故や感染症から自分を守るための行動ができている。		
	【教】事故や感染症防止の指導を通して、児童自らを守るための行動ができるようになった。		
【見】食事、睡眠など、生活リズムを整えた行動をしている。	3.9	3.7	
【保】お子さんは、食事、睡眠など、生活リズムを整えた行動をしている。			
【教】食事、睡眠など、生活リズムを整える指導を心がけた。			

自分には、よいところがある。

清園中学校区3校では、「自分には良さがある。自分には価値がある。誰かのために役に立つことができた。」と実感できるように自己有用感を高めるための取組を進めてきました。1学期に比べ、肯定的な回答をした児童の数は少し増えています。「仲間づくり」の取組の成果と言えますが、まだまだ十分とは言えない数値です。一人一人が学校行事や授業の中で輝く場面を設定したり、学校や友だちのために自分の力を発揮したりできるように、授業づくりや仲間づくりの取組を続けていきます。

自ら学び、よく考えて行動できる子ども

昨年度に引き続き、「子どもの声が響きあう授業」づくりをテーマに授業改善を進めてきました。子どもによる課題設定や教師や子どもが「つなぐ言葉」を使い、友だちと伝え合ったり協力したりしながら学びを進めるスタイルが定着してきました。伝える目的や必要感のある授業展開など、子ども同士で伝え合う場面のより一層の充実を図るとともに、獲得した知識・理解の活用により深い学びへと導く教師の働きかけ「次の一手」の取組を進めていきます。

豊かな感性と思いやりの心を持つ子ども

「友達となかよく学習したり、遊んだりしている」に肯定的な回答をしている児童・保護者は90%近くに達しており、概ね良好な人間関係の中で学校生活を送っていると判断ができます。仲間のなかで安心して自分を表現できる環境をつくるため、日常的な教育相談やより良い仲間づくりをするためのプログラム「ピア・サポート」の実践を進めていきます。

体を鍛え、明るく元気に活動する子ども

「運動を楽しんだり、体をつかった遊びを楽しんだりしている」児童の割合は、90%に達しており、運動を積極的に行っている児童が多いと言えます。体力調査結果の経年変化から見ても、運動能力・技能の向上など、全体的に体力の向上が図られていることがわかります。感染症対策も含めて、自分の健康の維持増進に対する意識は高まっていると言えます。

一方で、「食事・睡眠など、生活リズムを整えた行動をしている」児童の割合は、75%となっており、改善の必要があります。家庭学習強調週間の取組や早寝早起きの励行など、保護者と学校が協力・連携を図りながら進めていきます。

【児童の声】 今よりも、よりよい学校にするためのアイデアを教えてください。

【前期】

●今よりも、よりよい学校にするためのアイデアを教えてください。
・ありません
・ケンカをしない
・遊び道具を増やす
・言葉使いをよくする。
・楽しい授業を増やす
・もっともっと休み時間を伸ばしてください
・みんな楽しんで授業をしているけどふざけすぎてる人もいる。
・メープル小学校の全校生徒と仲良くできるように全校生徒との遊び時間多くする
・みんなのやりたい事をアンケートにする。
・ケンカをしない
・けんかをしないで、元気でいる。
・としうえがとしたにやさしくせつする
・とくにない。
・みんなで協力して笑顔があふれる学校にすればいい。
・遊ぶ物を増やしてほしい
・いじめされたことがあったから注意されてほしい
・協力するような遊びをする。
・みんなと仲良くしたり先生方とも信頼関係を作りたい。

【後期】

●今よりも、よりよい学校にするためのアイデアを教えてください。
感染対策をもっとやれば良い。
無駄なことを喋らない
感染対策をすれば良い
感性対策をする。
みんなで仲良く遊びをやったらいいと思う。
キレイする。
喧嘩をしない
ターザンロープをください。
みんながケンカしないで仲良くする。
昼休みをもう少しだけ長くしたい。
楽しくできる授業を増やす。
ターザンロープをつけてみんなで遊んだら楽しいと思う。
掃除の時間を伸ばす
授業態度を治す。
喧嘩やいじめをしない
生徒にどんな事をやりたいかアンケートを取る。

【児童の皆さんへ】

メープルしょうがっこう小学校は異学年いがくねん（違う学年）でちがくねんの学習や生活が特徴がくしゅうの学校です。先輩せいかつと後輩ごくちゅうがどうやって一緒に生活するとみんなが楽しい気持ちになれるのかを自然と学んでいるのです。是非一人一人の個性や特徴を認める。「みんながみんなのままでもいい良い!!」そんな集団になってください。先生方はみんなが「決める」場面を2学期たくさんつくっていきたいと思います。

【児童のみなさんへ】

学校の良いところは、「優しい」「協力」などのキーワードが多く書かれていました。その中でも印象に残ったことは、「失敗しても笑わない」や「会長がみんなの関係を深めようとしてくれる」と書いてくれた児童がいたことです。一人一人が、学校のことを考えて、良い学校にしようとして努力していることが伝わってきますね。学校をよくすアイデアでは、「児童にアンケートをとる」や「ターザンロープ」の設置など面白い意見がありました。ターザンロープかあ。どうすれば実現するか、さあみんなでも考えよう!!

3. 保護者調査結

学校教育目標 (めざす子ども像)	学校評価調査項目	1 学期 保護者	2 学期 保護者
小中連携目 標	自分には、よいところがある		
自ら学び、よ く考え行動で きる子ども	【児】授業では、自分の考えや思いを発表している。	4.5	4.3
	【保】お子さんは、新たな知識や技能を身に付けることを楽しんでいる。		
	【教】児童が自らの考えや思いを発表する場面を積極的に設定し、発表する力を向上させた。		
	【児】友達と伝え合ったり、協力したりしながら学習している。	4.5	4.3
	【保】お子さんは、友達と伝え合ったり、協力したりしながら学習していることを楽しんでいる。		
	【教】授業の中に伝えあい等の場面を設定し、協力して学ぶ楽しさを伝えることができた。		
【児】わからない問題や難しい問題があっても挑戦している。	3.7	3.7	
【保】お子さんは、わからない問題や難しい問題があっても挑戦している。			
【教】難しい問題等に挑戦するように働きかけたことで、意欲的な児童の姿勢を生み出した。			
豊かな感性と 思いやりの心 を持つ子ども	【児】友達となかよく学習したり、遊んだりしている。	4.4	4.6
	【保】お子さんは、仲のよい友だちがいる。		
	【教】児童は、良好な人間関係の中で、生活をしている。		
	【児】自分から明るく元気にあいさつをしている。	4.1	3.9
	【保】お子さんは、自分から明るく元気にあいさつをしている。		
	【教】教師自らが、積極的に挨拶などの声かけを行い、明るい雰囲気作りができていた。		
【児】学級やまわりの人のためになることを進んで取り組んでいる。	4.0	3.8	
【保】お子さんは、家族や地域など、まわりの人のためになることを進んで取り組んでいる。			
【教】児童の自発的な活動を促す声かけや指導を心がけた。			
体を鍛え、明 るく元気に活 動する子ども	【児】運動を楽しんだり、体をつかった遊びを楽しんだりしている。	4.5	4.4
	【保】お子さんは、運動を楽しんだり、体をつかった遊びを楽しんだりしている。		
	【教】時間がある時には、児童と運動をしたり遊んだりした。		
	【児】事故や感染症から自分を守るための行動ができています。	3.7	3.5
	【保】お子さんは、事故や感染症から自分を守るための行動ができています。		
	【教】事故や感染症防止の指導を通して、児童自らを守るための行動ができるようになった。		
【児】食事、睡眠など、生活リズムを整えた行動をしている。	3.7	3.3	
【保】お子さんは、食事、睡眠など、生活リズムを整えた行動をしている。			
【教】食事、睡眠など、生活リズムを整える指導を心がけた。			

【前期：保護者の声】 「学校に期待していること」や「教育活動で改善を望むこと」、「先生方に考えてほしいこと」などのお考えを教えてください。

・最近、子供同士のトラブルよりも、先生とのやり取りで納得できなかった事を訴えてくる事が多いです。女子と自分達との接し方の違いや、話を聞いてもらえないなど…。まだ小学生なので、どうしても自分自分となっている所もあるとおもいます。家では何があったのか、本人が気が済むまで聞いてどうしたらいいだろうかと話しています。時々、それ学校に連絡する？と聞くと「連絡はしないで！」と言うので、先生との信頼関係がうまくいってないのかな？と少し感じます。悪い事やおかしな事は、怒られるのは当然だと思いますが、本人がなんで怒られてるのかわからないような態度のときは他の先生に入ってもらったり、ご連絡いただけるといいなと思います。

・今回算数リーダーになって、『明日やだなー、2時間続けてリーダーをやらなければいけない日がある』と、自分ではがんばっているつもりだが、『すすみがおそい！』と先生に言われるからと、半泣きで訴えてきた事がありました。自分がそう思うなら先生に一度相談したら？と伝えましたが、自分からは言えないということでした。二学期は理科リーダーになりたいそうです。

・いつも子どもたちのために色々考えて頂きありがとうございます。先生方のおかげで安心して過ごすことができていると思います。

・いつもいろいろ工夫していただきありがとうございます、これからもよろしくお願いします

・パラグライダー、カヌー、川探検、を継続して欲しい。

・キャンプなどお泊まりの行事があったら良いと思う。

・いつもありがとうございます。

・できたらお昼の歯磨きを再開してほしいです。

・努力は実を結ぶという事に気づいて来ているので、モチベーションを保てるような関わりをこれからも願っています。

・学習面の向上

■どの子にとっても、安全で、安心できる居心地の良い場所づくりをまた、定期・不定期の教育相談による徹底した児童理解を継続して実施します。

■保護者の皆様との日常的な対話や連携を密にします。教職員間の連携、情報共有など学校体制の強化も図ります。「子どもが自分で決められること」を大切に生活や授業など、「知」「徳」「体」の力をバランス良く育成し、様々な問題にも仲間ともに解決していく力を育みます。

【後期：保護者の声】 「学校に期待していること」や「教育活動で改善を望むこと」、「先生方に考えてほしいこと」などのお考えを教えてください。

- ・1人ひとりと向き合っていて関わってくれていると思います。これからもみんなで取り組むことの楽しさ、難しさ、達成感が学べるような関わりを続けて欲しいと思います。
- ・特に不満を感じることはありませんでした。いつも子供たちの事を考えてくださりありがとうございます。Instagramも発信していただけるようになり、いつもは目にする事ができない子供たちの様子を見れて楽しいです。
- ・発表会は正直有志はいらなかったかなと思った。子供達の頑張ってる姿が見れば充分。
- ・先生方には子供達の考えを誘導したりする事なく、子供達が考えた事を尊重して、それを実現する為に力を貸してあげて欲しいと思います。そしてあからさまな子供の差別、態度、話し方をかえるのはやめてほしい。他の子供達が見ていて不快に感じるようなことはしないでいただきたいです。
- ・学習面では子供達はタブレットでの学習(与えられた問題と解答すること)には慣れているようですが、自ら考えて課題設定して家庭学習をする思考力はあまり無いように見受けられますので、その点について指導していただきたいです。
- ・教育活動については地域の自然環境を活かした野外活動の機会があれば良いと思います。
- ・平日(月～金)でいつでも参観できる週があると行きやすい
- ・学習発表会の時にステージの下の演技は見えにくかったです。
- ・コロナの前はお餅つきがあったと伺いました。お餅つきを再開してほしいなと思いました。
- ・基礎学力はもちろん、社会生活を学んで欲しい。また、学習、生活など学びの楽しさを伝えて欲しい。
- ・少人数のメープル小ならではの活動や講師の方による活動などが減ったように感じる。また、新しいものが、なかった。(4月の保護者懇談会で取り組むと言っていたのに)
- ・少人数制の学校の特性を生かした活動を増やし、子どもたちの興味関心の幅を広げて欲しいと思った。

■保護者の皆様との日常的な対話や連携を密にします。教職員間の連携、情報共有など学校体制の強化も図ります。

■「自ら考えて課題設定をして家庭学習をする思考力はあまりないようにかんじる」「少人数を活かした、子どもの興味関心の幅を広げる学習」など具体的なご意見が印象に残りました。アンケートの数値データからも、難しい問題に挑戦する意欲が低いと感じている結果でした。今一度、育てたい子どもの資質能力をしっかりと見据えた学習を構築していきます。

■子どもを信じて見守ることと、教え導くことのバランスも意識して参ります。

4. 教職員調査結果

学校教育目標 (めざす子ども像)	学校評価調査項目	1学期 教師	2学期 教師
小中連携目標	自分には、よいところがある		
自ら学び、よく 考え行動できる 子ども	【児】授業では、自分の考えや思いを発表している。	4.2	4.4
	【保】お子さんは、新たな知識や技能を身に付けることを楽しんでいる。		
	【教】児童が自らの考えや思いを発表する場面を積極的に設定し、発表する力を向上させた。		
	【児】友達と伝え合ったり、協力したりしながら学習している。	3.8	4.1
	【保】お子さんは、友達と伝え合ったり、協力したりしながら学習していることを楽しんでいる。		
	【教】授業の中に伝えあい等の場面を設定し、協力して学ぶ楽しさを伝えることができた。		
	【児】わからない問題や難しい問題があっても挑戦している。	3.5	3.7
	【保】お子さんは、わからない問題や難しい問題があっても挑戦している。		
	【教】難しい問題等に挑戦するように働きかけたことで、意欲的な児童の姿勢を生み出した。		
豊かな感性と思 いやりの心を持 つ子ども	【児】友達となかよく学習したり、遊んだりしている。	3.8	4.3
	【保】お子さんは、仲のよい友だちがいる。		
	【教】児童は、良好な人間関係の中で、生活をしていた。		
	【児】自分から明るく元気にあいさつをしている。	4.3	4.9
	【保】お子さんは、自分から明るく元気にあいさつをしている。		
	【教】教師自らが、積極的に挨拶などの声かけを行い、明るい雰囲気作りができていた。		
	【児】学級やまわりの人のためになることを進んで取り組んでいる。	4.7	4.4
【保】お子さんは、家族や地域など、まわりの人のためになることを進んで取り組んでいる。			
【教】児童の自発的な活動を促す声かけや指導を心がけた。			
体を鍛え、明る く元気に活動す る子ども	【児】運動を楽しんだり、体をつかった遊びを楽しんだりしている。	4.0	4.3
	【保】お子さんは、運動を楽しんだり、体をつかった遊びを楽しんだりしている。		
	【教】時間がある時には、児童と運動をしたり遊んだりした。		
	【児】事故や感染症から自分を守るための行動ができている。	4.2	3.9
	【保】お子さんは、事故や感染症から自分を守るための行動ができている。		
	【教】事故や感染症防止の指導を通して、児童自らを守るための行動ができるようになった。		
	【児】食事、睡眠など、生活リズムを整えた行動をしている。	4.2	3.9
【保】お子さんは、食事、睡眠など、生活リズムを整えた行動をしている。			
【教】食事、睡眠など、生活リズムを整える指導を心がけた。			

【前期：教職員の声】今期の学校運営の成果と課題をどのように考えていますか。あなたの考えを教えてください。

- ・ 職員の数が減少した中で、お互いに助け合いながら様々な教育活動を実施することができていたと思う。2学期も各行事の内容等を精査しながら取組んでいきたい。
- ・ 授業作りについて、共通理解を図りながら研修に取り組むことができた。子どもが創る授業に向けて、高学年はまだ十分とは言えないため、今回の研究会で学んだことを実践に活かしていきたい。安心して自分を表現できる仲間作りという面では、新しい友達の出会いや行事を通して、新しい関わりが生まれていた。2学期は、ピアサポートにより、よい関わりを持ち、相互に支え合う仲間作りを目指したい。
- ・ 先生方は、子どもが創る授業に取り組まれていれ素晴らしいと思いました。また、子どもたちのつぶやきを職員間ですぐ共有して指導に生かしていくことで、大きな問題に発展することを防ぎ、効果的な教育活動ができていると感じました。
- ・ 課題は学力向上と、教職員が手をかけすぎずに子どもたちの自主自立を促していくこと。子どもたちで決められる学校づくりを目標にして取り組んでいる最中だけど、子どもたちにもそういう気持ちはやや浸透してきたのが成果だと思う。同時にどこまで子どもたちに考えさせていいのか、委ねていいのかが迷うことが多々ある。授業作りについては、メープル小学校が目指す形がはっきりしたので、その目標に向かって取り組んでいくのみだと思う。個人的には、自分の授業が複式の形として現在成立していないので、これを改善していくことが課題だと思っている。

先生方が築いてきた子どもとの関係性、保護者との関係性に感動しました。この学校の持つ魅力や可能性を十分に感じ、これから更に伸ばしていかなければと言う責任を感じました。公開研の全てにその成果が現れていたのではないかと思います。研究所もメープル小学校を高く評価してくれていました。

今後の方向性としては

- ①教育課程の振り返りが必要。特に、総合と各教科で落としている特色ある活動やゲストを招いての授業などを今一度整理し、継続して行うもの、見直すものを考える。また、それらの時数の適正把握を行う。
- ②総合的な学習の時間の学習内容に探究的な学習を系統立てて取り入れていく。学年が上がるにつれてインプット中心からアウトプット中心の学習内容にチェンジしていく。探究学習の授業計画はいくつか例を持っています。
- ③「子どもたちが決められる学校」を進めていくために、子どもたちの探究的思考を育てることと、それを認め伸ばす我々のコーチングの技術と質を高めていきたいです。"

- ・ 管理職の校長先生、教頭先生が交代されましたが、運動会などの大きな行事を無事に終了したことは職員全員のいい成果の現れと思います。

課題としては些細なことでも情報の共有があれば学校運営は良くなっていくと感じました。(担当だけが知っているだけでなく、皆が知っていること)"

- ・ 児童同士で「ありがとう」や「すごいね」と言っている場面が増えたと感じます。
- ・ 上の学年は一年生に色々教えたり、注意したりする中で成長しているなど感じます。
- ・ 運動会の人間ばん馬などで地域やPTAの方々より深く関わることができました。これからも学校と地域を繋げる催し等を考えていきたいと思っています。

【後期：教職員の声】 今期の学校運営の成果と課題をどのように考えていますか。あなたの考えを教えてください。

- ・今年猛暑の日が続き児童、教職員の健康が心配でしたが、学習発表会をみんなで協力しあい無事に終えることができたことは日頃の児童、教職員の成果の現れだと思いますので、すごくよかったです。
- ・子どもが自分で決められる学校になるように取り組んでいた。子どもたちが自信を持って取り組めるように、教員が手を出し過ぎない的確な支援が必要だと思います。
- ・研修を通して、目指す児童の姿や指導法を意識しながら毎時間の授業を計画実施した。しかしながら、言語活動を複式で進めることは大変困難で、教育効果があるとは考えにくい。他の教科が単式で行っているのであれば、外国語についても検討していただきたい。
- ・教職員で協力して業務行うことができた（特に学習発表会では、子どもたちのために全職員で取り組むことができたと思う）。課題は、業務が多い部分を年度末反省で見直す必要がある。
- ・本校でしか経験できない学びが2学期も実施され、自律的な学習者を育てる授業づくりが推進されていた。
- ・子どもたちに自分たちで創る学校という意識が根付き、子どもたちが自分の考えを持ち、実現しようとする姿勢が見られたのがよかった。次年度以降も下の学年が良い伝統として受け継いでいけるとよい。
- ・親子レクが保護者主体で行えるようになったので、次年度以降も続けられるとよいと思う。
- ・児童数確保のための働きかけとして、Instagramを導入したのはよかったと思う。"

【新年度に向けた方針・取組】

- 異学年を学びのパートナーとした複式授業の一層の充実（自立的な学習者を育てる）
- 児童が主体となった行事や児童会活動（子どもが自分で決められる学校にする）
- 総合的な学習の時間の中に、探究学習をとり入れた教育課程を構築していく
- キュビナを活用した授業や家庭学習を構築する（児童の自律的な家庭学習の習慣化）
- 小中連携で取り組む「マイ・ノート」の導入（学びの自己調整力・情報活用能力の育成）
- 小規模特認校として入学児童を増やしていく取り組みを進める
- 学校紹介パンフレットの制作（小規模特認校である本校の教育活動を周知・理解を得る）

令和 5 年度 学校評価

自己評価報告書



岩見沢市立清園中学校

□学校の概要

推進校	岩見沢市立清園中学校				
校長名	桐渕 則行			教職員数	18 名
学年	1 年	2 年	3 年	特別支援	合計
学級数	1	1	1	2	5
児童数	49	48	27	6	130
住所	岩見沢市志文町 927 番地 5 号				
電話	0126-22-4859				
FAX	0126-22-4950				
UR-L	https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kosodate_kyoiku/gakko_kyoiku/chugakko/2/7060.html				
e-mail	seinc@edu.hamanasu.com				

I 学校教育目標

「個性を生かし、豊かな自己実現をめざす生徒の育成」

- ◎自ら学び、真理を究めよう
- ◎豊かな心を培い明るく生きよう
- ◎心身を鍛えたくましく伸びよう

めざす学校像・生徒像・教師像

- 「生徒・保護者・地域が自慢できる学校」～生徒が輝く学校
- 「自立できる生徒」～自分のことばに責任もてる生徒
- 「生徒を第一に考える教師」～生徒と共に考え努力する教師

II 令和5年度の重点目標

- ア 授業改革 「思考力を高める授業づくり」
- イ 心の改革 「安心できる学級づくり」
- ウ 接続改革 「保護者や地域の期待に応える学校づくり」
- エ 行動改革 「組織的な学校づくり」

III 具体的方策

ア 授業改革

1 「社会に開かれた」教育課程の実現と改善サイクルの確立

- ・教科横断的な視点での単元計画の改善
- ・各種調査に基づく PDCA サイクルの好循環

2 不断の授業改善

- ・子どもが主体となる「子どもと創る授業」の実践(子どもの声が授業で 60%響く)
- ・生徒の「学習スキル」の育成と教師の「授業スキル(RYTK)」の獲得

・先端技術を活用した探究的学習の構築

3 学力向上を図る機会の確保

・授業の気づきから問いへと思考を深め、学びを自己調整する力を育成。(授業、家庭学習、単元テストを一体化するマイ・ノートの取組)

・少人数や TT による補足的・発展的な指導の実施

・授業終末の振り返りを充実し、次の学びに向かう力を育成。

・深化問題の提示など、授業と直結した家庭学習の充実

【数値目標】全国学力調査で「授業がよくわかる」と答える生徒の割合 第1回答85%以上

イ 心の改革

4 道徳教育の充実

・子どものつばやき・発言から展開する「考え、議論する」道徳授業の充実

(「むりなく・むだなく・むらなく」三無主義の道徳実践)

5 生徒の主体性を重視した活動の充実

・「ピア・サポート」の理念を全教育活動に浸透し「傾聴・受容・共感」の心理的安全性を確保した学級風土の醸成

・児童・生徒会連携し主体となった行事や挨拶・いじめ根絶等の取組

・3校の教職員が、「寄り添う指導」により全校児童・生徒を育む組織体制の構築いじめなどの問題行動の未然防止や早期発見・迅速対応

6 キャリア教育の充実(小中接続)

・1年生からの系統的キャリア教育の実施と職場体験学習の充実

・「主権者教育」や「ふるさと教育」の充実

【数値目標】生徒アンケートで「楽しく学校に通えた」と答える生徒の割合 85%以上

「自分には良いところがある」と答える生徒の割合 85%以上

※どちらかと言えばを含め

ウ 接続改革

7 義務教育9年間を見通した計画的・継続的な教育課程の充実

・「子どもと創る授業」の実現に向けた子どもの声を響かせる小中接続した授業づくり研究

・小中接続のもと岩見沢市立教育研究所指定「子どもと創る授業」研究による9年間の継続性のある指導の充実

・出前授業や SMS English などの小中合同学習の計画的な年間実施

・小中合同研修会を通した教育課程接続の研究推進「ふるさとを愛し生き抜く教育課程」

(※特に道徳科・キャリア教育)

8 コミュニティ・エリア機能の拡充

- ・コミュニティ・エリアで目指す理念や地域人材を共有し、「社会との接点を重視する」教育活動の充実
- ・清園中学校区学校運営協議会によるコミュニティ・エリアの評価の充実
- ・小中接続による毎月末の「家庭学習強調週間」の改善・充実

【数値目標】保護者アンケートで「経営方針や教育活動を保護者や地域によく伝えることができる」と答える割合」85%以上

Ⅰ 行動改革

9 目的達成型の分掌組織による業務の推進と企画委員会の機能強化

- ・RG－PDCAサイクルとOODA理論による臨機応変な目的の達成
- ・主任層の裁量権の拡大による独自性と創造性の発揮

10 働き方改革の推進

- ・業務の見直しによる精選（選択と集中）と校内研修の効率的な推進
- ・服務規律の徹底と教職員のメンタルヘルス
- ・初任段階職員対象の小中メンター研修実施による効率的な業務の推進（行動改革）

【数値目標】・施錠時間（前期18:30、後期18:00）

- ・年休7日以上
- ・超過勤務を1か月45時間以内、1年間360時間以内
- ・留守番電話設定時間（前期18:00、後期:17:30以降翌朝7:30まで）

Ⅳ 各種評価結果と改善策

次頁以降参照

授業改革—思考力を高める授業づくり

- 1 「社会に開かれた」教育課程の編成・実施と改善のサイクルの確立
- 2 不断の授業改善
- 3 学力向上を図る機会の確保

	とても良くできている	良くできている	あまりできていない	できていない、早急な改善が必要
前期	5	4	4	0
後期	4	10	0	0

前期	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体でいろいろな考え方やスキルを身につけられるような取り組みがされていると思う。ただ、生徒の実態にあっているか、時々考えさせられることがある。いろいろな場面で思考する課題が増える一方、それを苦手とする生徒への配慮、支援の視点も大事になってくるかと思う。 ・問題が生じた場合には改善することができていた。 ・これまでより、時間の余裕が生まれてきて「教材研究」に当てる時間が増えたことで、授業の質が上がった気がする。 ・思考させる機会を作る授業改革や単元テスト内容の工夫など ・子供と創る授業の実現に向けて、授業改善に取り組んでいる。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に課題をもち、取り組んでいる ・自分なりに教育関係の資料を読み、実践することで手ごたえのある学力改善ができた。 ・教育関係のTV・ニュースなどを活用し、授業改善に取り組んでいる。 ・下位層への働きかけ ・何をやるにも時間が足りない。なんとかしてその時間を生み出していかなければならないと思う。

心の改革—安心できる学級づくり

- 4 道徳教育の充実
- 5 生徒の主体性を重視した活動
- 6 キャリア教育の充実

	とても良くできている	良くできている	あまりできていない	できていない、早急な改善が必要
前期	2	8	2	1
後期	4	10	0	0

前期	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体性を意識しすぎて放任しているだけになっていないか疑問。子どもたちには、ほどよく知識を与えながら決定権を与えたいと考える。 ・SMS 連携でのティーンゼニアなど、キャリア教育が充実した。 ・小学校高学年から中2での職業体験まで職業観の育成がつながる教育活動となると思う。 ・一部の生徒の発言の内容、言葉遣いなどの様子から、周りへの影響が心配になることがある。今後も、授業や行事等の活動の様々な場面を通じて、予防的な指導を行いながら安心できる環境づくりを行うことが必要と感じる。 ・取り立てて授業で取り組む以外に、日常的な対話の中で生徒に語りかける必要を感じる。 ・「道徳教育」自体にスポットが当たりすぎるのは良くないことだと思う。「道徳教育」を通して教育全般の質をどう高めていくかを意識していく必要がある。「道徳」の授業の仕方や教え方よりも、「道徳」を通して何を伝えるべきかが大事なように感じる。
----	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に判断する機会を作る努力をしている ・日常生活における道徳心が育っていないと感じるから。(小学校段階で身につけていないような気がする)
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業については、自分自身まだ改善の余地あり。 ・子どもたちの自己肯定感引き上げと仲間同士でのコミュニケーション能力の向上ができた。ピアサポートの要素を道徳に組み込み、困った時に傾聴ができる生徒が多い。 ・高校やその先を意識した問いかけを課題に取り入れている。 ・日常生活の中での道徳教育が必要 ・道徳の授業は学年内で授業者を回すべき(多様な考え方に触れる) ・短学活の在り方・運営等について、議論してみてもどうか。 ・自分は道徳の授業より自分の担当教科の授業のことで手がいっぱいです。

接続改革—保護者や地域の期待に応える学校づくり

7 義務教育 9 年間を見通した計画的・継続的な教育課程の充実

8 コミュニティ・エリア機能の拡充

	とても良くできている	良くできている	あまりできていない	できていない、早急な改善が必要
前期	4	8	1	0
後期	1	9	4	0

前期	<ul style="list-style-type: none"> ・SMS での接続は定着してきた感じがする。 ・小中連携は、どのくらいまでやればできたと言えるのか、全く見通しがたたない。このまま進めば、「あれもやったほうがいい」「これもできる」となってやるのが膨大に増えそうで心配。学校運営協議会がどんな活動しているかなどその実態が良くあまりわからない。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携がもう少しうまくいけば働き方改革にも繋がりそう(授業規律や総合学習など) ・SMS での連携は 9 年間を接続する良い取り組みである ・小学校の実態を中学校としては情報が入ってこない。しかし、読み書きやイスに座ること等の基礎を学ばせた小学校教員に対しても中学校教員がリスペクトの精神を持つ必要がある。 ・小学校と一緒に研修を行なっている点では取り組んでいることにはなるが、小学校の実態はあまりわかっていない気がする。 ・小中連携は進んでいるが、合同行事などは距離や時間のリスクが大きな課題である。これをどう埋めていくかで今後の取り組みが大きく変わっていくと思う。 ・小学校の教育課程を見れると良い。教科の指導に反映できる部分があるかもしれない。 ・小中ではできることから少しずつ取り組み、着実に進んでいる感がある。今後はどうやって地域を巻き込んでいけるかが課題。 ・SMS 合同研修等で小中連携の取り組みがされている。 ・小中連携…教育課程の部分ではなかなか進んでいないと感じる。

行動改革—組織的な学校づくり

9 目的達成型の分掌組織による業務推進と企画委員会の機能強化

10 働き方改革の推進

	とても良くできている	良くできている	あまりできていない	できていない、早急な改善が必要
前期	6	6	1	0
後期	8	6	0	0

前期	<ul style="list-style-type: none"> ・分掌としての仕事がまだ未熟であり、やれてないところが多くて周囲の先生に迷惑をかけている部分が多い。しかし、自分自身が中心となって動いている分、学ぶ部分が多いし、それに対してサポートしてくれる先生もいるので、自分自身がもっと頑張らないといけないのが課題である。 ・それぞれの判断で進めていけることはいいが、本当にそれでいいのかと思うこともある。 ・働き方改革への意識はかなり高まり、みんな実践していると感じる。 ・ある程度の削減や統廃合が進んだと思うので、今後は残ったものの質を高め、本当に効果のある取り組みを目指していく必要を感じる。意義のある活動を構築して行く際には、個々いろいろな考え方の違いや対立があってもいいが、話し合いによる合意が必要である。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・考え方が柔軟で、変化を恐れず改革に取り組んでいる。 ・チーム担任制によって教員1人かかる負担は軽減できたと思う。今後も続けて20代の若手教員が辞めずに働きやすい環境づくりを進めた方がよい。 ・目的に合った活動になるように考えながらスリムダウンに向けて全体が努力している様に感じる。 ・学年担任制が始まって、担任業務の負担は均衡化されているのは大きな成果と言えるが、分掌業務の軽重や授業時数偏りが解消されていないので、人によっては負担や責任の重さが増えていると感じているのではないだろうか？ ・様々な視点から改革に取り組んでいる。

<企画委員会まとめ>

『授業改革』	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が、授業改善に取り組んでいることが読み取れる。授業スタイルを強制される事に疑問を持っている人もいるが、それをきっかけに自分なりの取り組みを構築している成果が出始めているのではないか。
『心の改革』	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳が教科化されている以上はやらなければならないこととなっているので、全員でやるべきであると考えている。多様な見方・考え方にふれることで、生徒の情緒の安定に努める必要がある。 ・短学活の運営について意見があったが具体的にどのようなことをイメージしているのか知りたい。
『接続改革』	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携を確実に進んでいると感じている。ただ、教育課程の整合性や物理的な問題(時間や距離の調整)に課題が見えてきたので次年度以降の調整が必要である。
『行動改革』	<ul style="list-style-type: none"> ・「何かを始めるのであれば、何かをやめる」気持ちに余裕があり、前向きに業務に当たるシステムの構築や職場の雰囲気づくりを今後も作り続けたい。

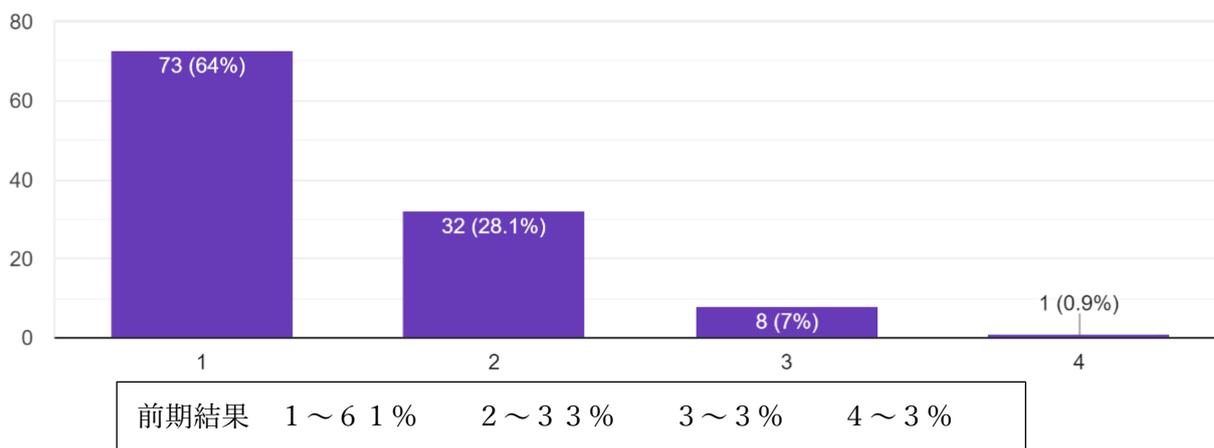
令和5年度後期 生徒用アンケート集計結果 (R6.1.16実施)

1～よくあてはまる (できている) 2～あてはまる (だいたいできている)

3～あまりあてはまらない (あまりできていない) 4～全くあてはまらない (できていない)

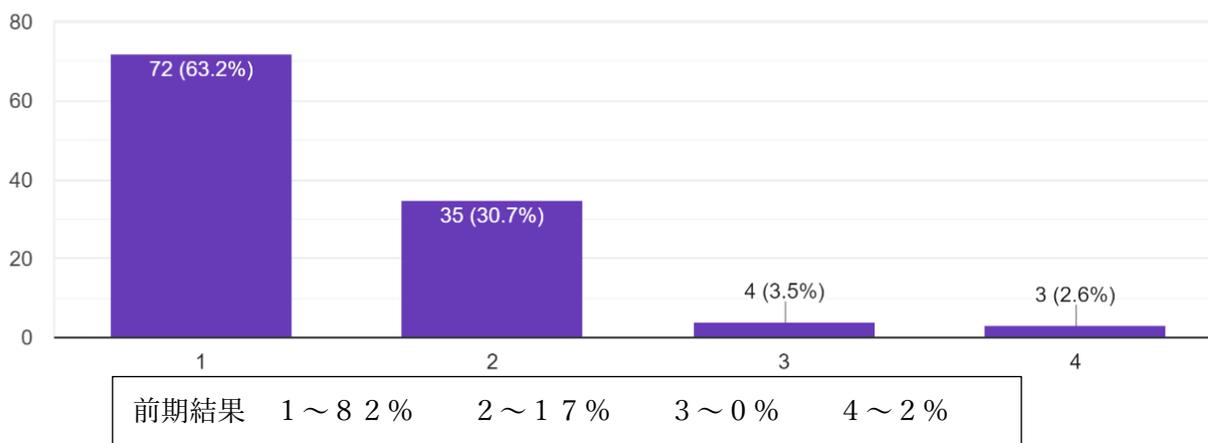
1 あなたは、今年度後期(10月10日～今日まで...振り返り、楽しく学校に通うことができましたか。

114件の回答



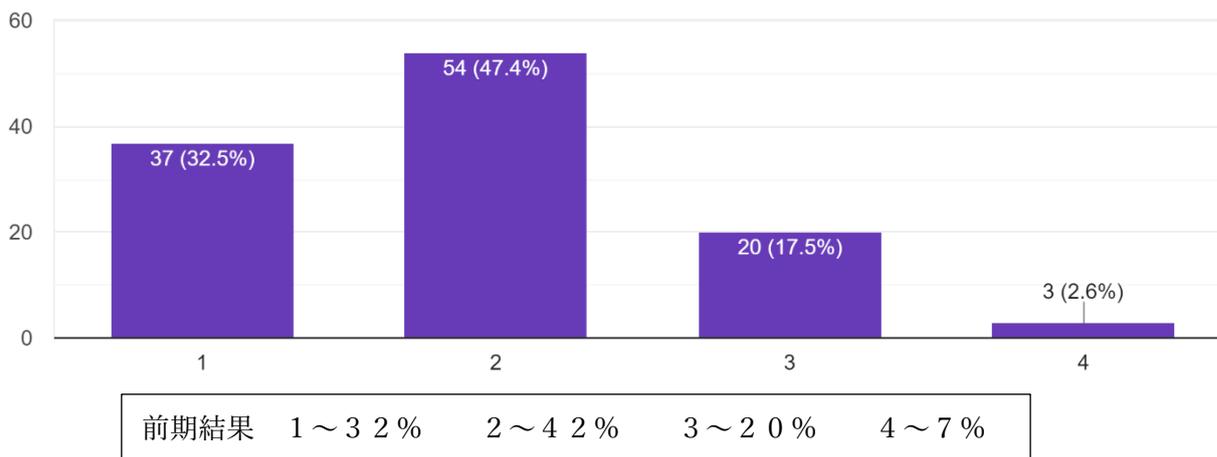
2 あなたは、生徒会の活動や部活動に積極的に参加しましたか。

114件の回答



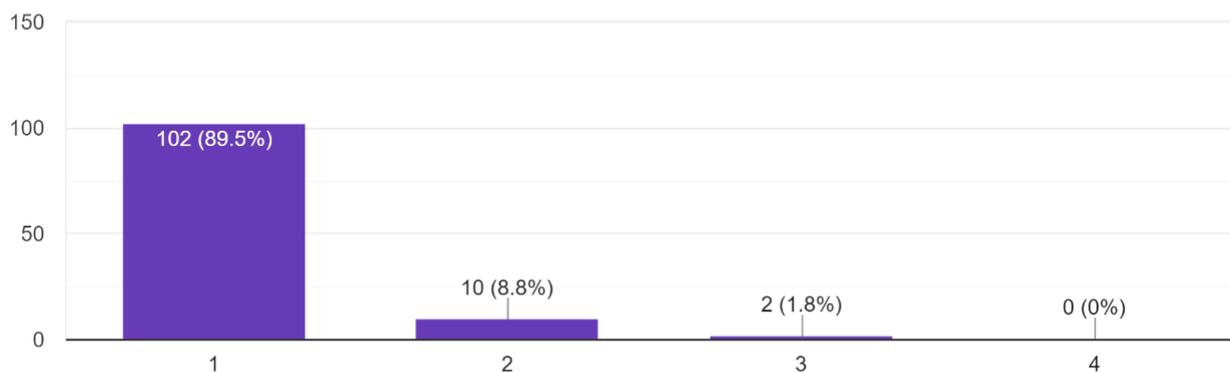
3 単元テストは、自分の学力向上や自信を持つことにつながっていますか。

114件の回答



4 国語科の授業は、わかりやすく、自分で考えたり話し合ったりする時間も確保されていますか。

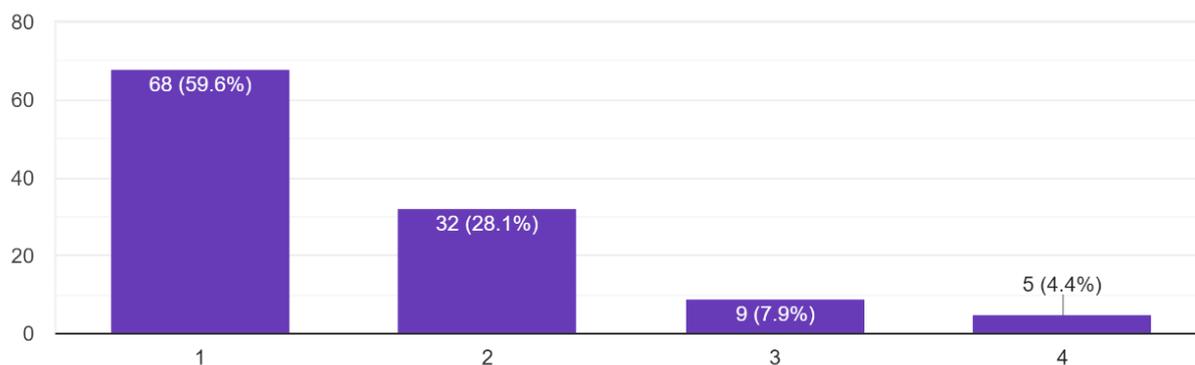
114件の回答



前期結果 1～87% 2～12% 3～2% 4～0%

5 数学科の授業は、わかりやすく、自分で考えたり話し合ったりする時間も確保されていますか。

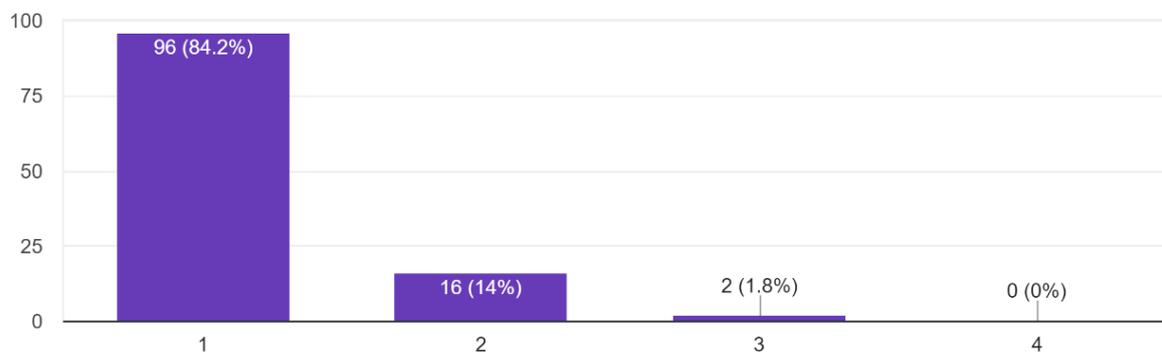
114件の回答



前期結果 1～63% 2～25% 3～10% 4～2%

6 社会科の授業は、わかりやすく、自分で考えたり話し合ったりする時間も確保されていますか。

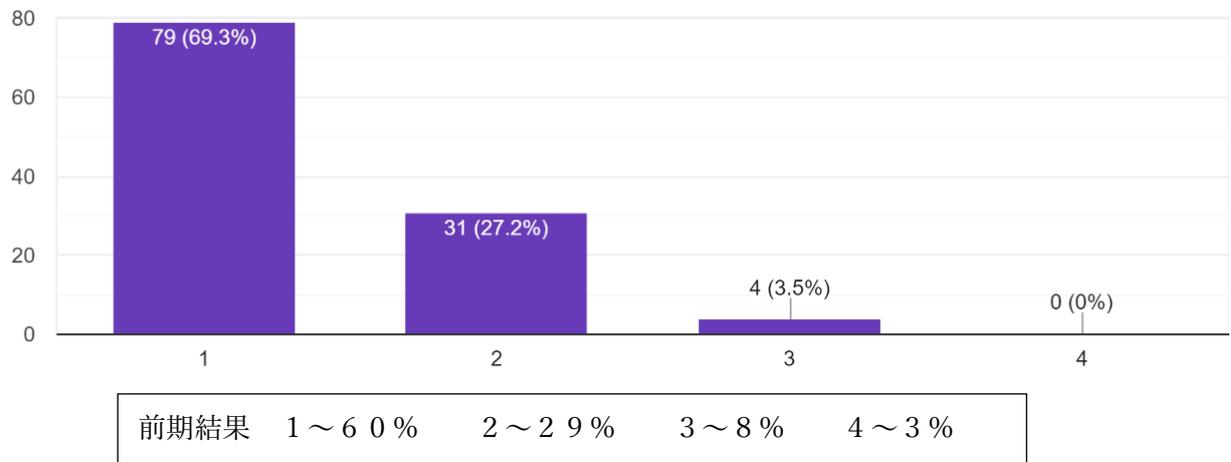
114件の回答



前期結果 1～83% 2～14% 3～2% 4～2%

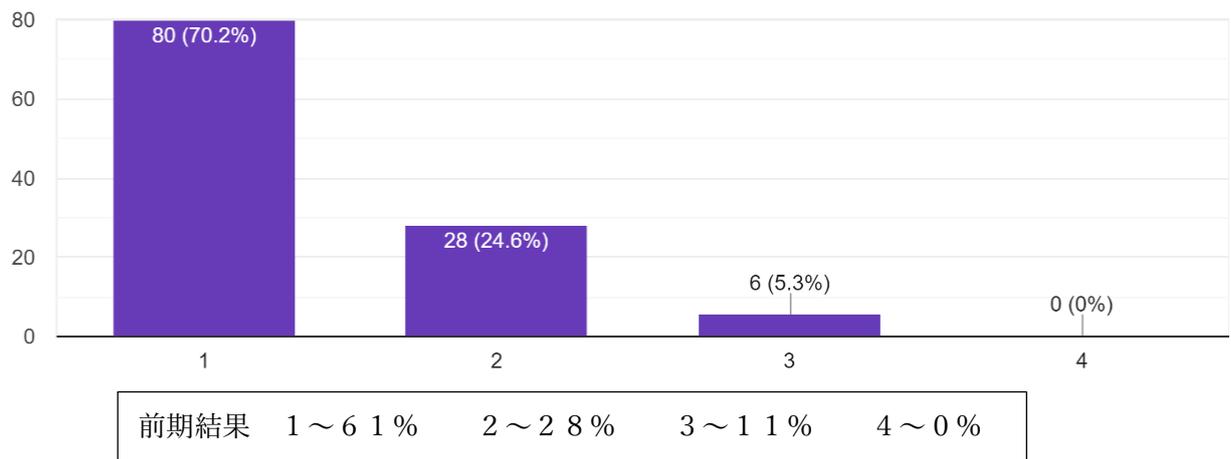
7 理科の授業は、わかりやすく、自分で考えたり話し合ったりする時間も確保されていますか。

114件の回答



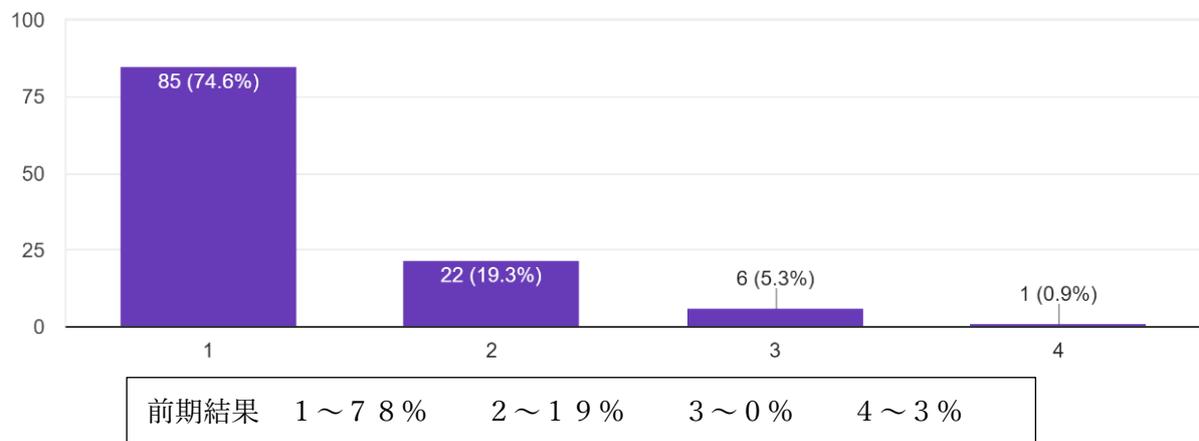
8 英語科の授業は、わかりやすく、自分で考えたり話し合ったりする時間も確保されていますか。

114件の回答



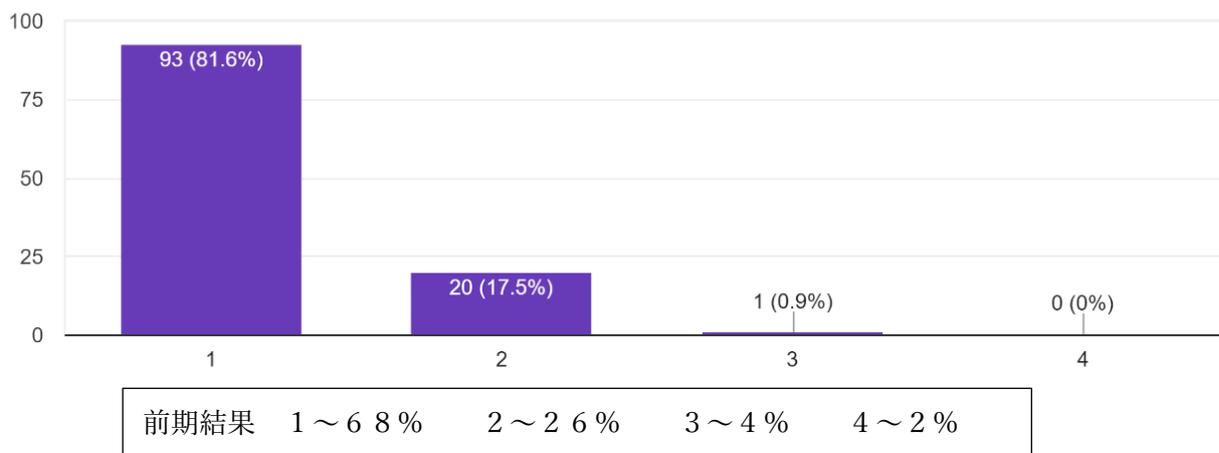
9 保健体育科の授業は、自分たちで工夫して活...り技能を伸ばしたりする時間になっていますか。

114件の回答



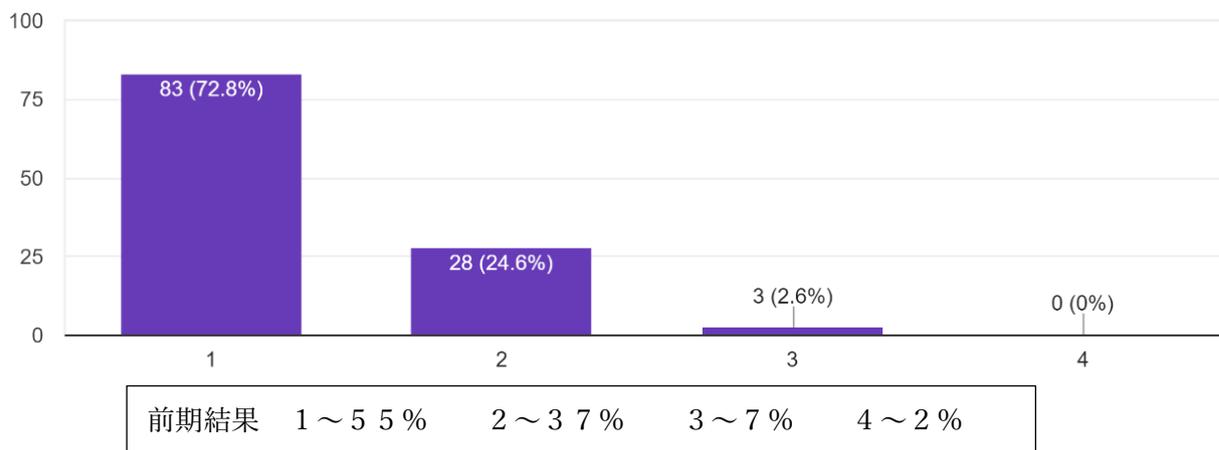
10 技術科の授業は、自分たちで工夫して活動...り技能を伸ばしたりする時間になっていますか。

114件の回答



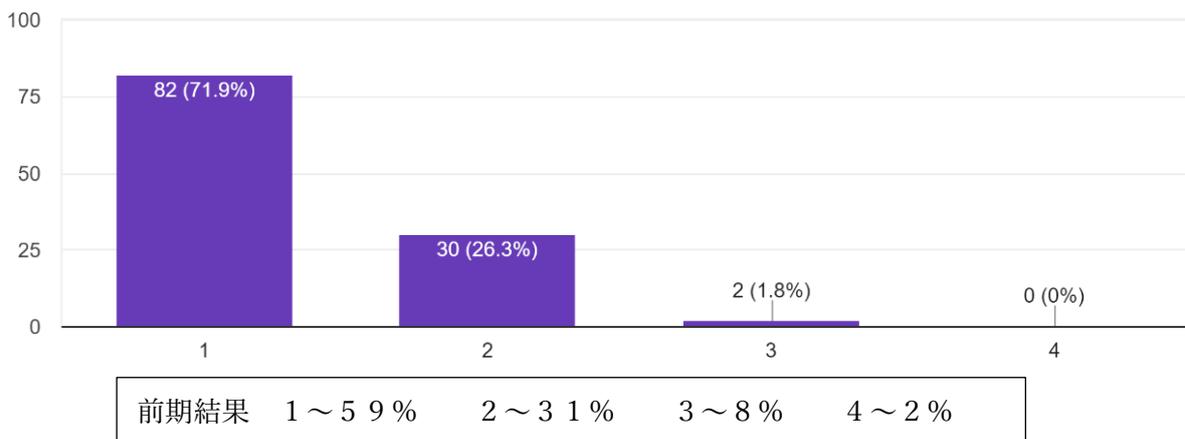
11 家庭科の授業は、自分たちで工夫して活...り技能を伸ばしたりする時間になっていますか。

114件の回答



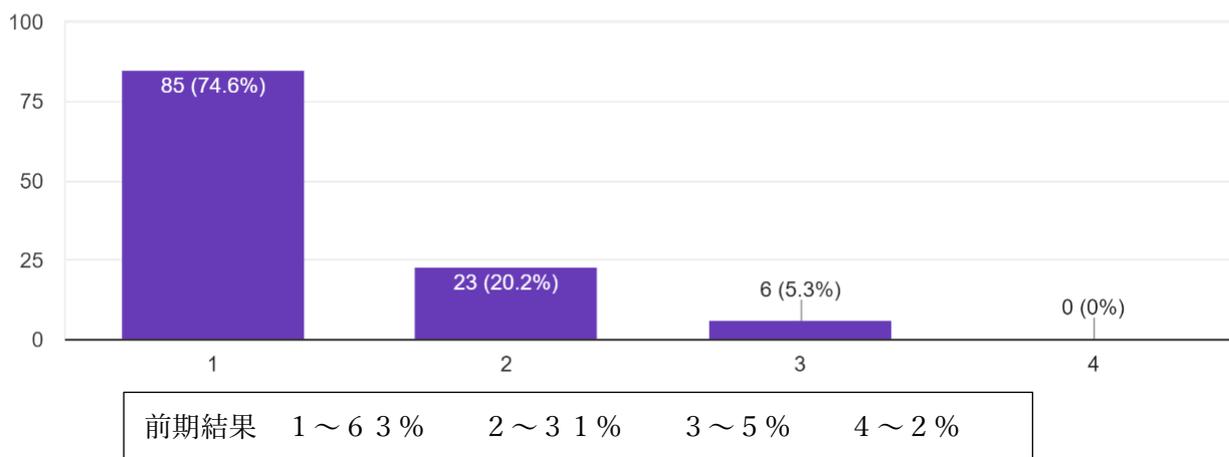
12 音楽科の授業は、自分たちで工夫して活動...り技能を伸ばしたりする時間になっていますか。

114件の回答



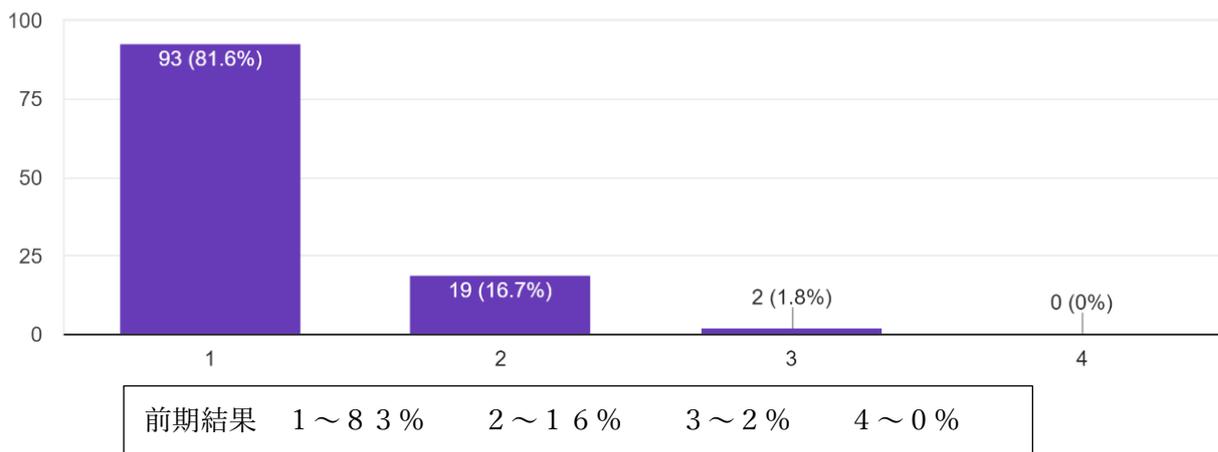
13 美術科の授業は、自分たちで工夫して活動...り技能を伸ばしたりする時間になっていますか。

114件の回答



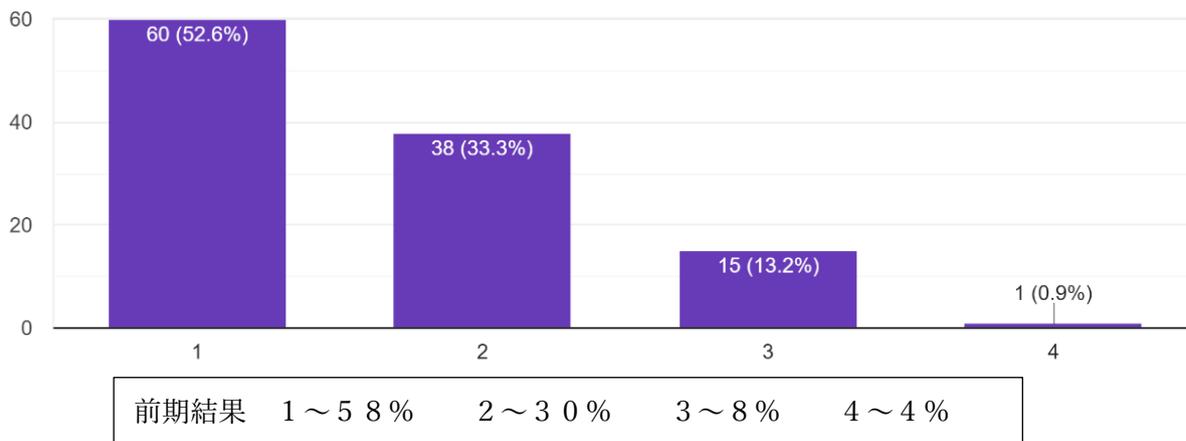
14 道徳の授業では、話を聞くだけでなく、自...で話し合ったりする時間が確保されていますか。

114件の回答



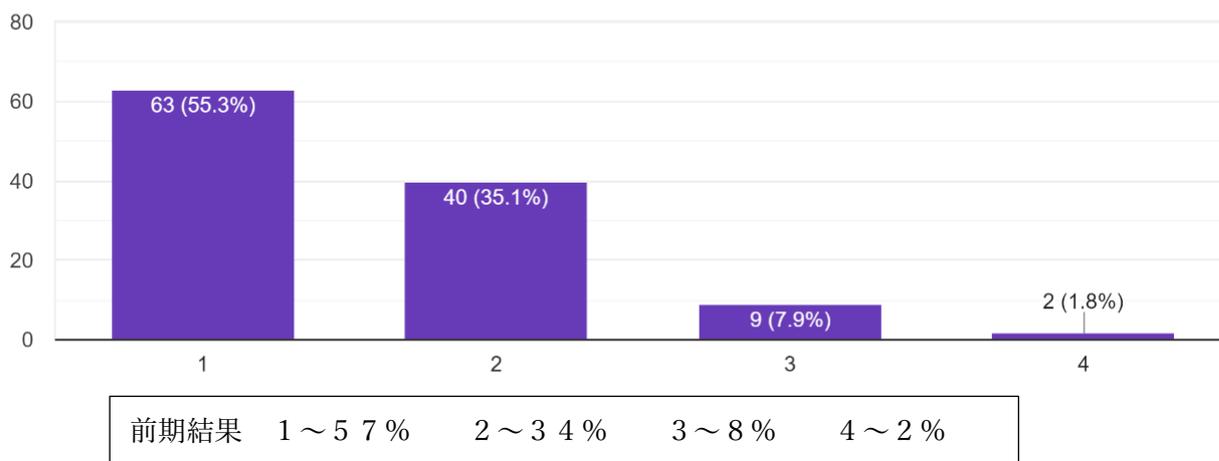
15 TTや少人数の授業(英語・数学)は先生が一人の時より、わかりやすいと思いますか。

114件の回答



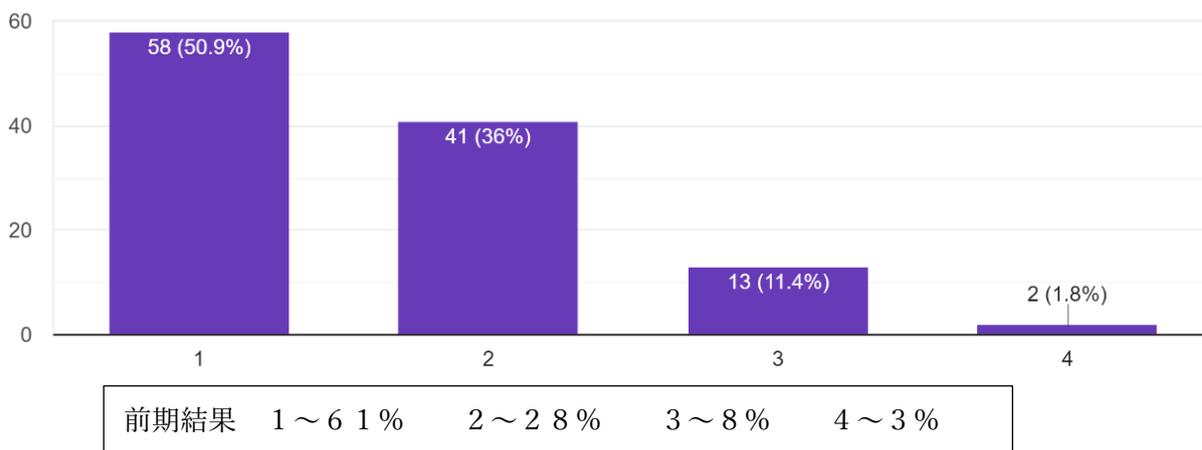
16 総合的な学習の時間は、自分の課題を見つけ解決に向かい取り組むことができていますか。

114件の回答



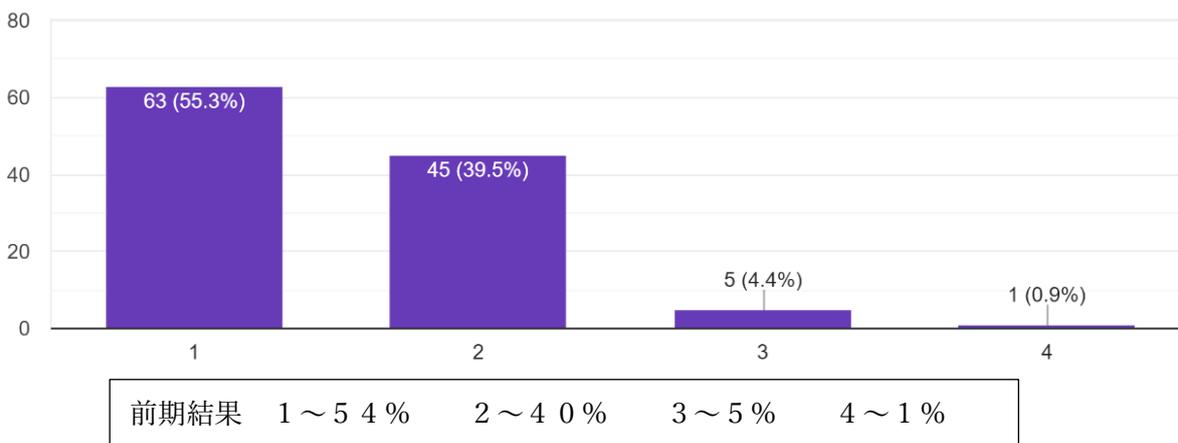
17 あなたの学級では、自分の意見を言いやすい雰囲気がありますか。

114件の回答



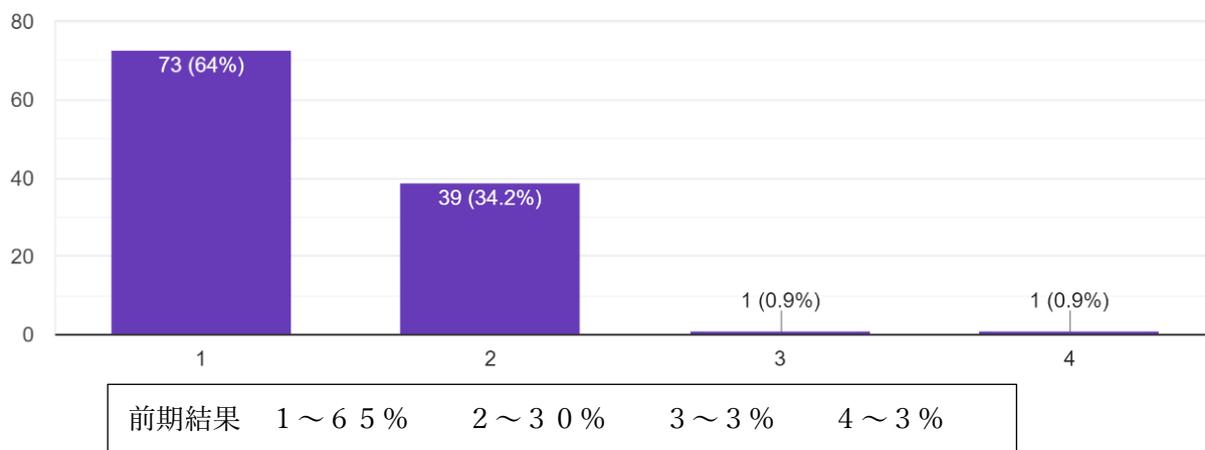
18 あなたは、毎日あいさつや返事、場に応じた言葉遣いなどができていますか。

114件の回答



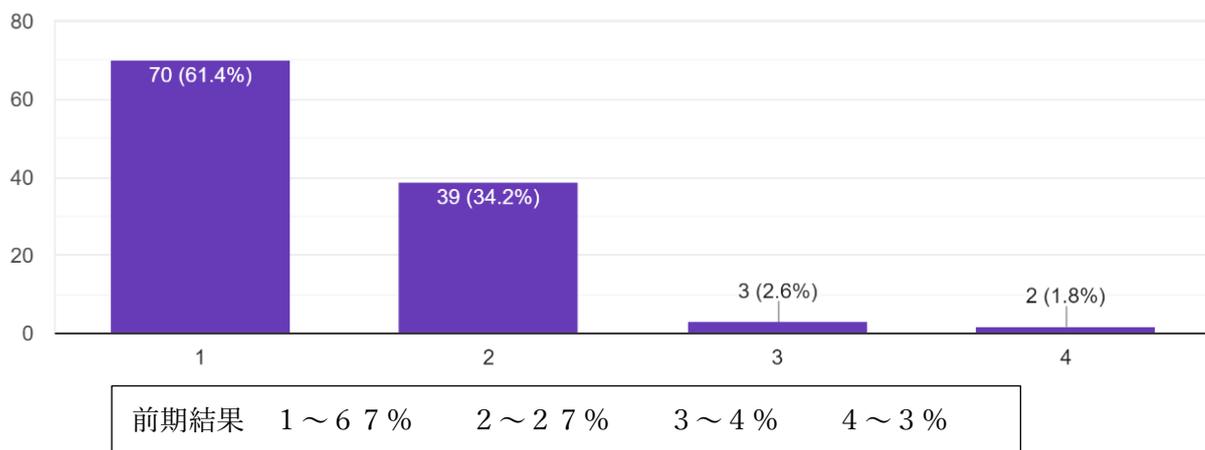
19 あなたは、集団生活に必要な決まりを守ることができていますか。

114件の回答



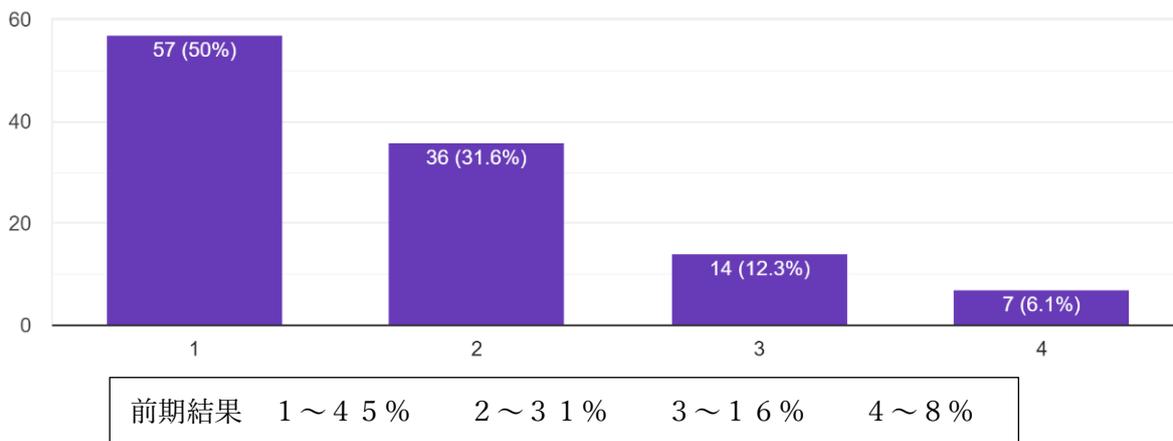
20 あなたは、日頃思いやりを持って仲間と接することができていますか。

114件の回答



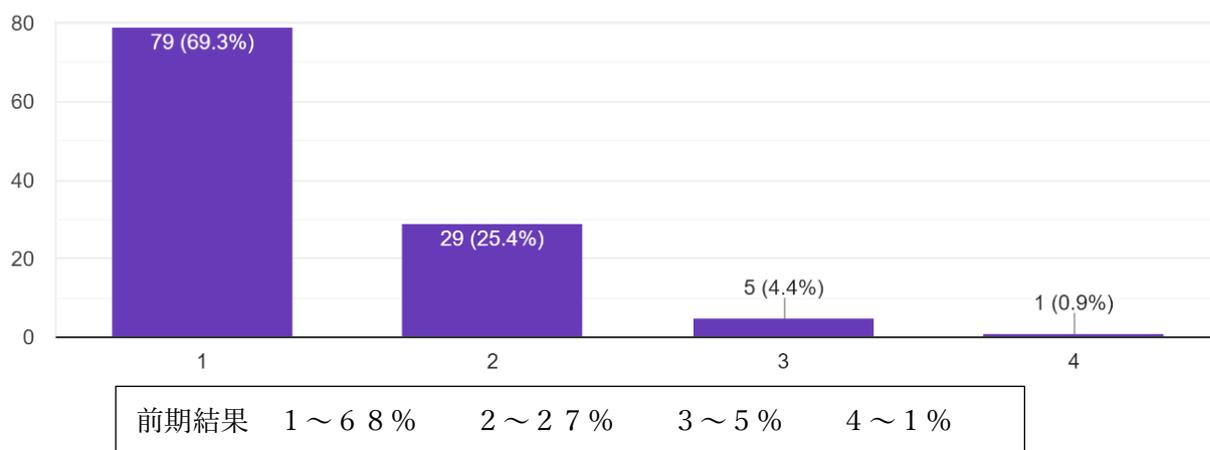
21 あなたは、普段、先生方と話したり、いじめや困っていることなどを相談できていますか。

114件の回答



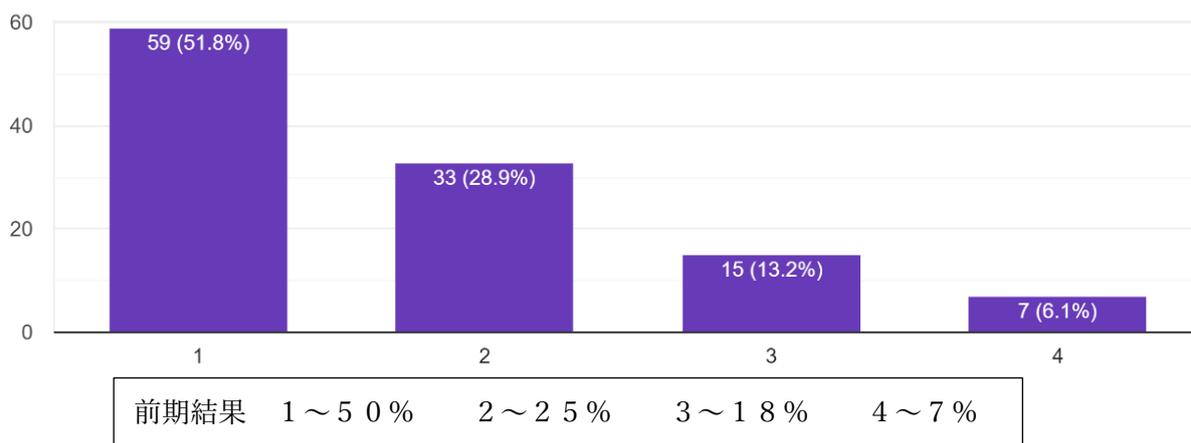
2 2 先生方は、生徒が間違っした行動をしたときにきちんと指導することができますか。

114件の回答



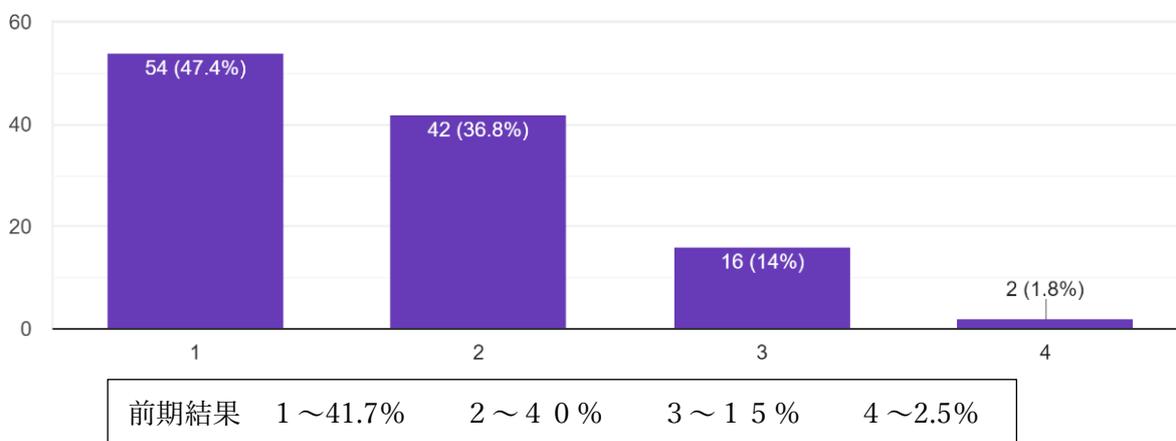
2 3 あなたは、学校での出来事を家の人によく話すことができますか。

114件の回答



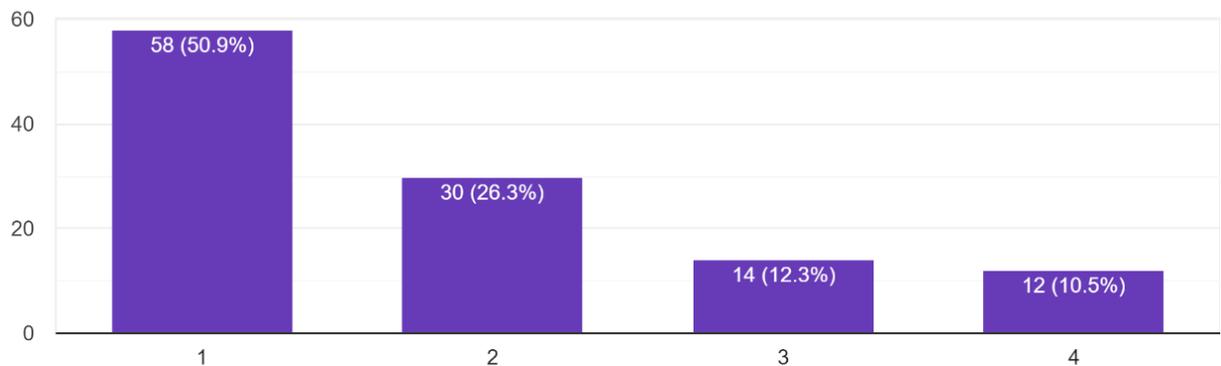
2 4 あなたは、規則正しい生活を送ることができますか。

114件の回答



2 5 あなた、携帯電話・スマートフォンにつ...のほか、家庭の決まりを守って使っていますか。

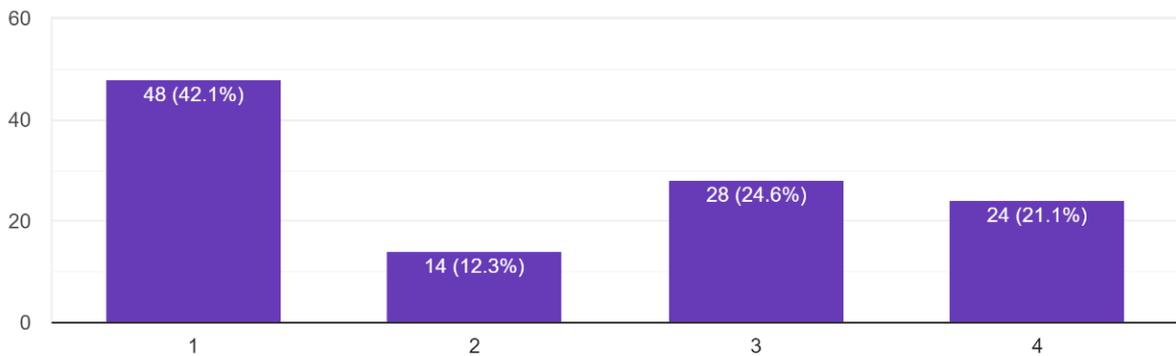
114件の回答



前期結果 1～50% 2～28.3% 3～7.5% 4～14.2%

2 6 あなたは、1か月に1冊以上の本を読んでいますか。

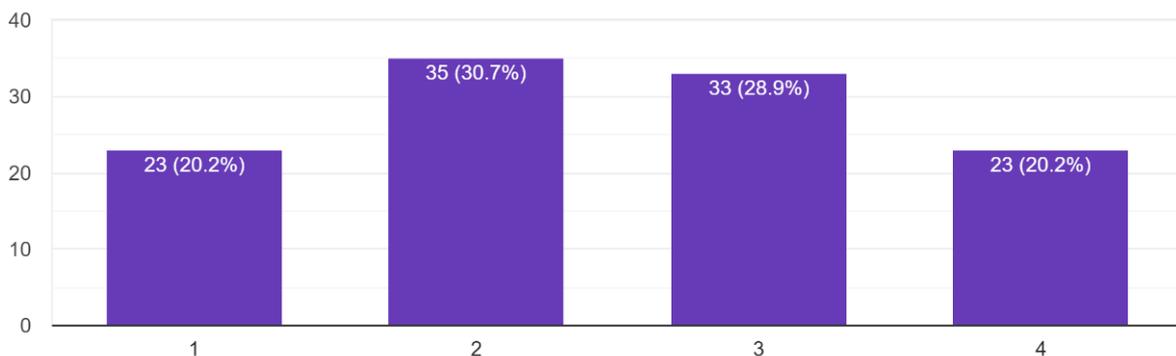
114件の回答



前期結果 1～44% 2～11% 3～22% 4～23%

2 7 家庭学習は、平均して1日1時間以上行うことができますか。

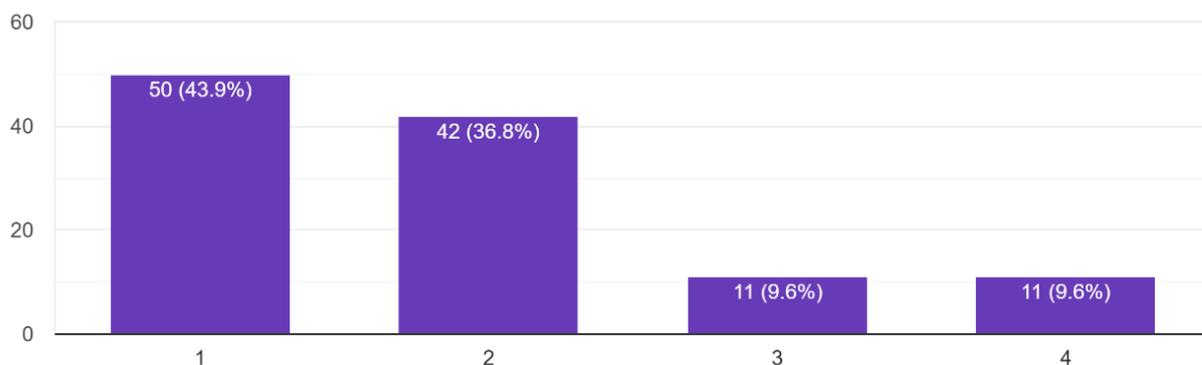
114件の回答



前期結果 1～20.8% 2～25.8% 3～27.5% 4～25.0%

28 自分には良いところがあると思いますか。

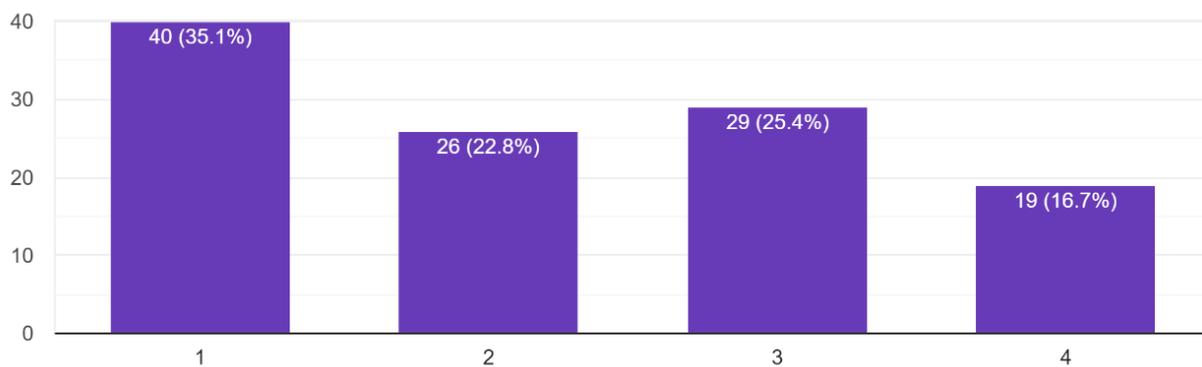
114件の回答



前期結果 1～43.3% 2～28.3% 3～17.5% 4～11.7%

29 あなたは、将来の夢を持っていますか。

114件の回答



前期結果 1～37.5% 2～21.7% 3～19.2% 4～20.8%

まとめ

・ほとんどの項目で肯定的な回答が見られたが、令和 4 年までの自分の生活の仕方などに

ついては、肯定的な回答の割合が減ってきていたが、以下のような変化が見られる。

○「規則正しい生活」については、良い状況である。

○「家庭学習」についても、微増ではあるが、50%を超えた。

○「よいところがある」についても、今年度前期で70%、後期で80%を超えた。

しかし、「将来の夢」にはまだつながっておらず、前期から後期にかけて低下した。

「1できている」「2・だいたいできている」	の割合			
	R3	R4	R5 前期	R5 後期
規則正しい生活が送れている。	75.4	68.6	81.7	84.2
スマホの使い方	75.6	62.7	78.3	77.2
家庭学習	49.6	46.6	46.6	50.9
良いところがる	63.7	66.1	71.6	80.7
将来夢がある	62.5	55.7	59.2	57.9

・清園の取組が成果として現れ始めているので、今後もより一層、自己肯定感を高められる

ような、働きかけや場面設定を行っていき、学力向上につながるきっかけを作っていきたい。

また、3あまりあてはまらない、4あてはまらないと回答している生徒への手立ても

考えていきたい。

31 あなたが授業中に、自分が「わかった」「できた」「もっと勉強してみよう」と思うのはどんな時ですか。

問題が解けた時 (10)	なんとなくできた時
難しい問題が解けた時 (5)	できなかった問題ができた時
わからない問題が解けるようになった時 (3)	解けなかった問題ができるようになったとき
自力で問題を解けたとき (3)	わからない問題があってその問題がきになって自分で調べようとするとき
未解決に終わった時	新しい単元などに入った時やり方を理解する事ができた時
わからないなーと思った時	授業の内容を理解した時
気になった時	自分で問題の答えを導き出した時
理解した時や、わからなかった時	頭をつかって問題を解けた時
テストの点数が悪い時	わからなかったことができるようになったとき
自分が興味を持ったもの	新しい発見があったときや、テスト対策に向けて
友達や先生方に教えてもらった時	苦手だった単元がだんだんやっていくうちに楽しくなって好きになった時
自分がその問題を理解できた時	自分の好きだった単元だったとき
めっちゃ問題ができた時	自分で法則や定理などを理解した時
自分があまりわからない教科のところでできるところを見つけた時	体育で出来ないことがよりできるようになった時
クラスの一部の人にできないことを馬鹿にされた時。	「わかった」「できた」は授業ですごい納得できた納得できたとき「もっと勉強してみよう」は逆に納得できていなかったりテストの点数が悪かったりしたとき
自分がしっかり理解できていないことをちゃんと説明できるようになった時	授業で話の意味が良く分かった時 難しい問題を解くことができた時
復習などで友達や先生が優しく解説してくれて「わかった」、「できた」と思った。	答えがわかったとき
計算問題を解けた時。	ジェフリー先生と話している時にもっと上手く話してみたいと思う
自分の考え方で問題を解けた時	自習の時間
答えが分かった時	疑問を正解できた時
数学で難しい問題を解けた時	スラスラと問題を解ける時
褒められたとき、もっとやってみてって言われたとき	解けなかった問題が解けた瞬間
テストを返された時・プリントなどの課題を行なっている時	わからないところがわかったときもっと勉強しようと思う。
穴埋めや問題を自分の力で解けた時	理科 英語
その問題が理解できた時	解けなかった問題が解けるようになったとき
わからないところのやり方がわかった時	興味があるとき
前習ってそこといましていることがつながったとき	先生が個別で教えてくれたとき。
授業をして楽しいと思った時	問題があった時
授業中	めっちゃくちゃ難しかった問題を解けた時
数学の時の茂泉先生指導を受けている時	自分が興味を持った時
ひらめいた時?	わからなかった問題が解けるようになったとき。友達と協力して問題を解いたとき。
新しい知識や物事を知れたとき	問題も解き方がわかったとき。
できても不思議に思った時など	一人で授業の問題を解けた時
自分がいろんな人の話を聞いたりして理解した時	問題を理解できたとき
今まで解けなかった問題を解けるようになった時	友達に質問された問題を教えられたとき。
最初は 分からなかった問題が自分の今まで習ってきた事を少し復習したら解ける様になった時	新しい疑問ができた時
疑問に思っていたところが解決した時	問題の意味が理解できたとき
数学の問題解いてるとき	問題を解けたとき、正解したとき
テストの点数が高かったとき	先生の話を理解できた時
理解した時	問題に興味を持った時
単元テストの点数が良かったとき	問題などを解いて面白いと思ったとき
内容が理解できた時。	テストでいい点を取れた時
わからないことがわかるようになったとき	その問題について解けたり深く知れた時
勉強が理解できたとき	ない、あまりない (3)

30 あなたが学校生活の中で、自分が「楽しい」「うれしい」と実感できるのはどんな活動をしているときですか。

美術部	クラスが盛り上がっている時
休憩時間に談笑するとき	グループ活動
学校祭 (2)	友達と遊んだり、話したりしているとき
体育祭	班での活動や休み時間友達と協力して取り組んでいる時
友達と一緒に話している時	学校の一大イベント
友達と話している時、授業中、部活	体育の授業を受けているとき
部活中の会話	テストで良い点が取れた時
いつも	好きな教科の勉強をしているとき
体育と友達と喋っている時	グループ活動
友達と喋る時や教えてくれる時	クラスメイトと会話している時
テストの点数が高かった時	学校行事や、友達と遊んでいるとき
行事の準備準備的なものをしている時	部活や友達と勉強している時
部活などをしている時	単元テストのテスト練習の時と授業中に勉強していい点数を取った時
友達と好きなことを話している時	部活動、仲間と取り組んでいるとき
仲の良い友達と休み時間にはなしているとき	グループ作成の時などで1つの目標に向かってみんなで努力して達成した時
悩み事をしている時に友達が励ましてくれたりした事が嬉しいと思った。	部活をしている時や、友達と話している時
部活 (8)	授業(数学)
学校祭で自分がやりたいことをできた時	部活動中や自分が好きな授業(保健体育や技術など)をしているとき
授業でわからないことがあっても友達や先生が優しく教えてくれてうれしいと実感した。	友達と話している時 授業中がよく分かる時
学校祭の劇の練習の時がとても楽しかったです。	学校祭の準備などで仲間達と話し合って行動すること
体育をしている時 問題が解けた時	行事のときや、部活、休み時間に中のいい人とあそんだりしている時
友達と話している時 (15)	給食がいいメニューの時
人との会話	自習の時間
休み時間にいろんな人と喋る時	友達と会話
授業でスラスラと問題を解くことができた時	自分の好きな事や物に関連する事の話が話題になっているとき
友達と協力する時	グループで何かものを作る時・発表する時
学校祭などの生徒会活動	休み時間友達と遊んでいるとき、難しい問題が解けたとき
部活動で体を動かす時 自分が勉強で納得できた時	体育 英語 技術 給食 理科 部活
みんなで笑い合っ活動している時	自分が夢中になれる活動をしているとき
給食の後の休憩時間	友達といるとき
部活での個人制作	授業がおわったあと
話し合うとき	生活していて自分の意見に賛成してもらった時や褒めてもらった時
部活内で話す時	人と協力して物事を進めている時
みんなと交流をしているとき	班行動
友達と話している時や部活動	難しい問題が解けたとき。体を動かしているとき。
体育	テストで高得点をとったとき
技術科や美術科の時間にクラスの人たちと相談などして協力して1つの作品を仕上げに行く過程	授業中に発言ができたとき。
テストでいい点をとった時	人と会話できた時
仲良い人たちと何かやっていると	体育など体を動かしているとき
休み時間	体育をしているとき
ない	好きなこと、得意なことをできる時
友達と一緒に勉強している時。	テストの点数などの結果がよかったとき
給食	給食がいい日
部活で試合をやっている時	
友達と意見を話して理解してもらえた時	

32 あなたは「チーム担任制」について、どのような考え・感想を持っていますか。

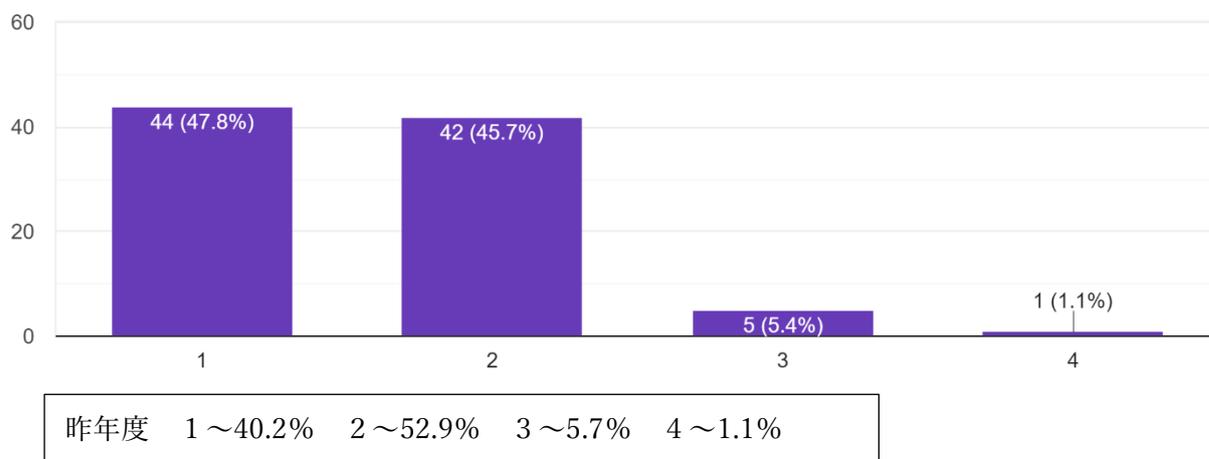
いいと思っている (10件)	今までとあんまり変わらない
よくわからない (13件)	相談しやすい先生はみんなそれぞれ違うからいいと思う
特にない (5件)	いろんな先生と関わりが取れるのでいいと思う
いろんな先生と話せていいと思う	2週間で変わるくらいがちょうど良く色々な先生とも話せるし良い
二週間で変わるから気分も変わる	いらないうと思う
その先生じゃないと話せない人とかがいるからとてもいいと思います	いろいろな先生の交流が増えて良いと思った。
先生によって、違う生活になったりするから新しい感じで楽しい。	うちのクラスでは今までとあまり変わらない
何もデメリットはないし変わる楽しさもあるっていいと思う 当初の目的も達成できていると思う	いろんな先生と交流ができるからいいと思う
特に何も思っていない	担任が誰かわからなくなる
先生方が入れ替わるのはいいと思うし色々とお話ができる。	2年生は3人の先生ですが、先生方は優しく授業でしか会えない先生とたくさん関わられて嬉しです。
色々な先生と喋ったりできていいと思う	去年の始業式の時に担任が決まったのに急にいろんな先生が担任になったら担任という特別感のものがなくなるから自分は反対かなと思います。あまり得意でない先生も強制的に担任になってしまうので、そこが不便。でも他の点はすごくいいと思う。
色々な先生と接せてよかった	先生が変わることに必要性を感じません
二週間ごとに担任が変わるので新鮮さが毎回ありいいと思っている	先生が変わると個人的に楽しいと感じるから自分的にはいいと思う
いろんな担任が来て楽しい	なんの意味があるのかわからない
色々な先生と交流できる	どうでもいい
先生によって違いはあるが騒がしい時に静かにしてくれたりクラスを楽しませてくれるなど工夫してくれるからとても良いと思う。	どうでもいい
先生が変わるたびに話したい先生と話せることが多くなるからいいと思う	2週間で変わるの早いと感じたりAとBが混ざった感じがしてAのクラスという感じが無くなったかんじがする
部活や勉強のことで相談したいことがあるときや楽しい先生が二週間ずつに変わるにより相談やしたり楽しく過ごせてとても満足している。	末松先生のまががいい
色々な先生が来てくれるから関わる機会が増えるのでとてもいいと思います。	正直やめて欲しいと思った。先生と仲良くなりにくいから相談がしにくい。
新鮮さがあっていいと思う	結局何か変わったかが謎
担任一人よりも楽しい。	先生と話しやすい
色々な先生と仲良くできたりする	今とあまり変わらないと感じる
以前よりいろいろな先生方と交流をすることができるようになった	3年生はあんまりやらないからわからない。
二週間で担任が変わっていいと思う	いろんな先生がいていいと思う。方が一担任の先生が苦手でも二週間で変わるのいい。
色々な先生と関わる事があっていいと思う。	あまり実感が無い
とても過ごしやすい	先生方からしても生徒のことをきちんと知れると思うし、2週ごとに変わるから楽しい。
いろいろな先生たちでいろいろなやり方だあっていいと思った	圧倒的反対！！チーム担任制の良さが全然わからない
2週間で変わるの学校に来るのも楽しくなるからいいと思う	あってもいいと思う
いろいろな先生方と接する機会が増えた	チーム担任制がわかりません
担任が1人だけだと生徒について全てわかるわけではないが、複数だと気づける部分があってすごい良いシステムだと思った	いろんな先生がいるから様々な問題にもすぐに対応できそう
自分の得意な先生に相談できることがいい	3年生は行っていないのでわからないけど、いらないうと思う。
前とさほど変わらない	効率が良い
今までは担任の先生だけだったけど副担任の先生やA組組の先生と一緒に二週間過ごしてとても楽しく感じました	する必要はあるのかと思う
先生によって話せることとかがあるからいいと思った	メリットがわからない
違う学年の先生でもやってほしい	前までとあまり変化は無いと思う。
自分が話しやすい担任の先生に相談できるのはいいと思いました。	末松先生のままでいい
2週間ごとに先生と席が変わり、今までたまにしか話さなかった人とも仲良くなれたのでチーム担任制になって良かったと思う	前とそんな変わらない
良い制度だと思う	交流できる
2週間に1回かわっておもしろい	色々な先生と関わられて楽しい
先生が変わるんだ一ぐらい	なんのためにやったのかなと思った
色々な人と接することが出来て輪が広がるからいいと思います。	先生方の負担が多そう
この制度の方がいいなと思いました。	

33 清園中学校をよりよくするために、どんなことが実現できたらよいと思いますか。あなたの考え・アイデアを書いてください。

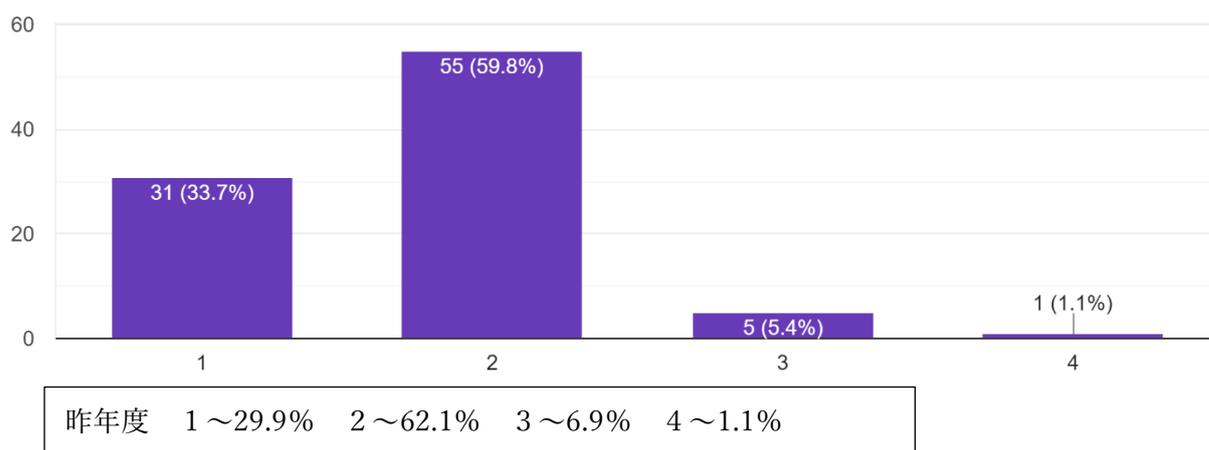
特にない (30)	わからない
エレベーターと階段をもう一ヶ所追加する	自分からしたら今くらいがちょうどいいと思う
勉強を頑張る	校舎が少し古いところがあるからリフォームすればいいと思う
一人一人が責任を持つ	みんなの意見を聞ける機会を作ってほしい
笑顔を増やす	お互いの意見を言い合える学校がいいと思う
みんなでいろんなことに取り組んだり、中間を大切できたら良いと思う。	今もすでにいいと思いますが、今よりもっと発言しやすい環境ならみんな素を出せると思います。
今のままでいいと思う	2ヶ月に一回くらい全校で集まってコミュニケーションを取る
机を広くしてほしい	学校祭をもっと自由にしたい。ダンスの表現でステージから降りたりや、学年の発表の時に学年全員で前に座って応援したい。
新しい行事が増えるといいと思う	他の学年と話し合ったりする場を設ける事でコミュニケーションを取ることができるからいいと思う
いす机を新しくしてほしい	冷房が付けた方がいいと思う
沢山の人と交流できる機会をつくる	古い箇所工事
先生が生徒によって態度を変えたりするのをやめてほしい。屋上に柵をつけていける用にしてほしい(気分転換や精神安定(ストレスによる))。	冷房が欲しい欲しい
壁を綺麗にする	人によって態度を変えない
校舎の中の電気や壁を変える。	学校祭のようなイベントを増やしてほしい
夏場の温度調節をもっとできるようになったら良くなると思う。	クラス替えの廃止 (4)
エレベーターをつけた方がいいと思います。理由は怪我人が大変そうだったから。	自習の時間を増やしてほしい。
全校生徒の交流時間を作る。	人との接し方
怪我してる人が通れるようにエレベーターをつける	自分の意見をみんなの前で言えないことが多いから少数での話し合いが増えて欲しい
生徒同士の交流の場を設ける	定期テストの復活
学校内でも私服で過ごす	お昼に部活がある時に軽食を食べたい。
いじめなどが無くなるようにする	定期テストを復活させる
自分には良いところがあると聞かれたときにあると全員がいえる学校	相談した後の対応を考えてほしい
いじめが無くなればいいな	多様性と言いながら他人への見られ方を気にするような身なりで生活をしているので、多様性と言わない方がいいと思う。
積極性を持っていろんな事を積極的に取り組む	単元テストの日が被ることが多いので被らないようにしてほしい。
何かされたらすぐに先生や周りの人に相談できるようにすれば清園中学校がよりよくなると思います。	他の学年との交流の機会があれば、より良い雰囲気を作れると思った。
利他共生	教室にクーラーをつける
コミュニケーションを増やすような行事	密にならない程度に全員が仲良く交流できること
学校を暖かくする	定期テストと単元テストを両方やる。
現状を保つ。	図書室・保健室・教室の横以外に静かに過ごせる場所、休み時間に休める場所があること
校舎の色を変える	タブレットの使い方を気をつけた方がいい
内装を綺麗にする	教室にクーラーをつける
挨拶 (3)	もっと生徒と向き合ってほしい

令和5（2023）年度 保護者アンケート集計

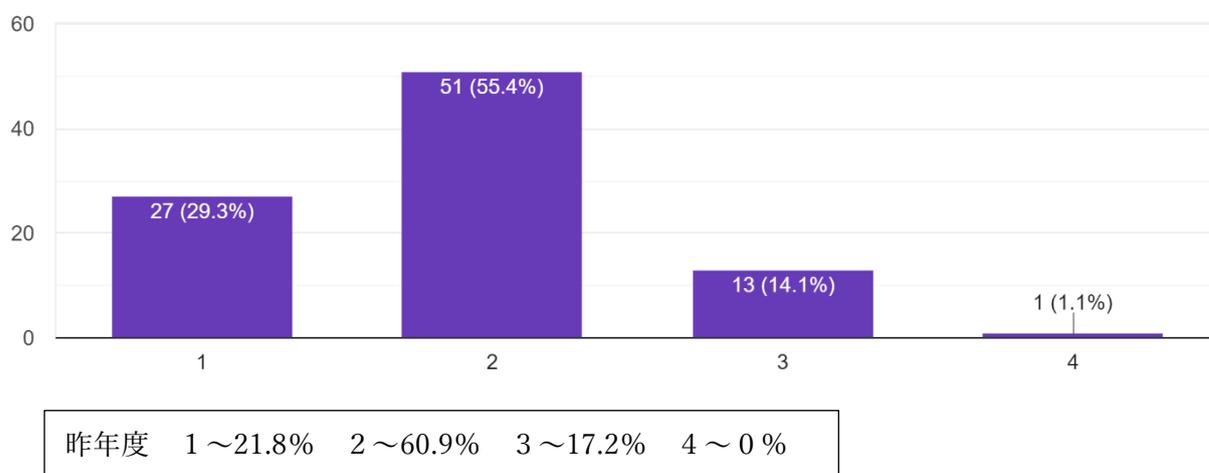
1 学校は経営方針や教育活動など、必要な情報を保護者や地域に伝えることができている。
92件の回答



2 学校は、生徒一人一人が大切にされ、認められる教育ができている。
92件の回答

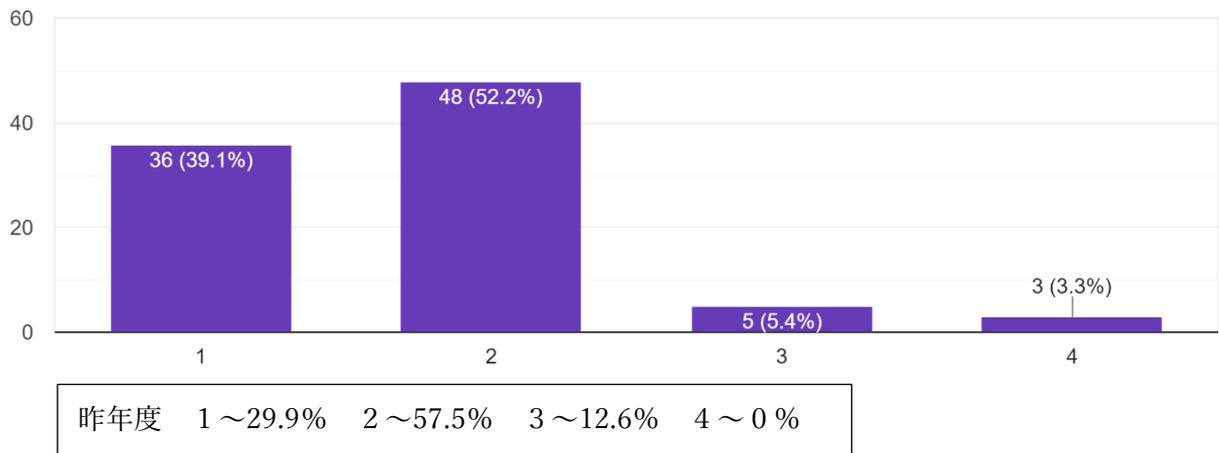


3 学校の授業は工夫され、個を大切にした学習活動ができている。
92件の回答



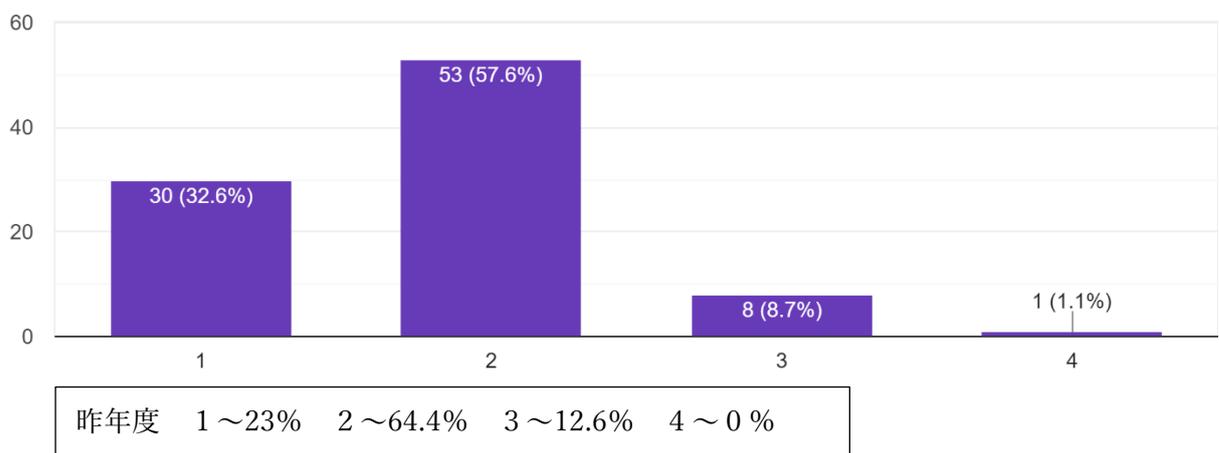
4 学校は、生徒の安全や健康に配慮することができている。

92件の回答



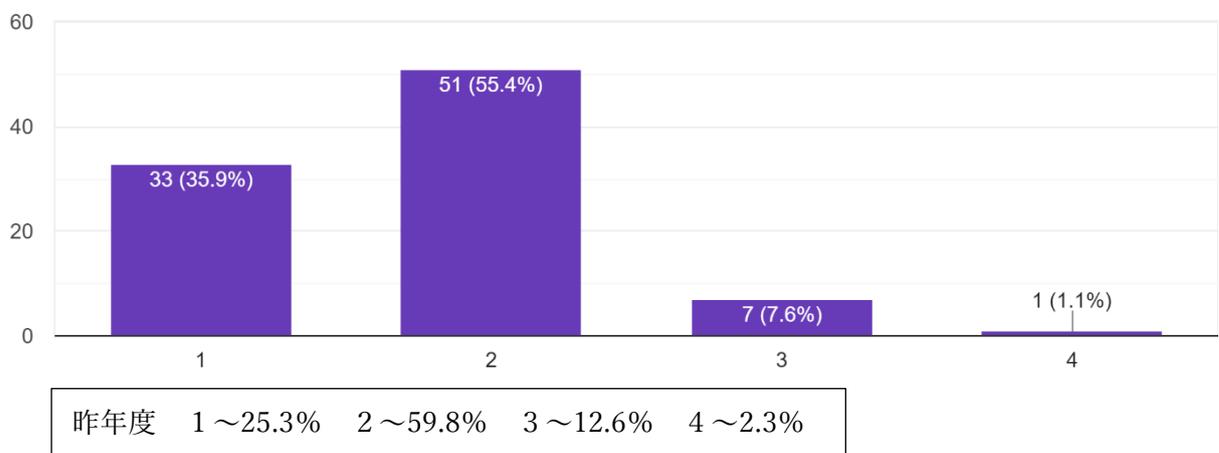
5 学校は、校舎内外の清掃や整備に努め、よりよい環境づくりを行っている。

92件の回答



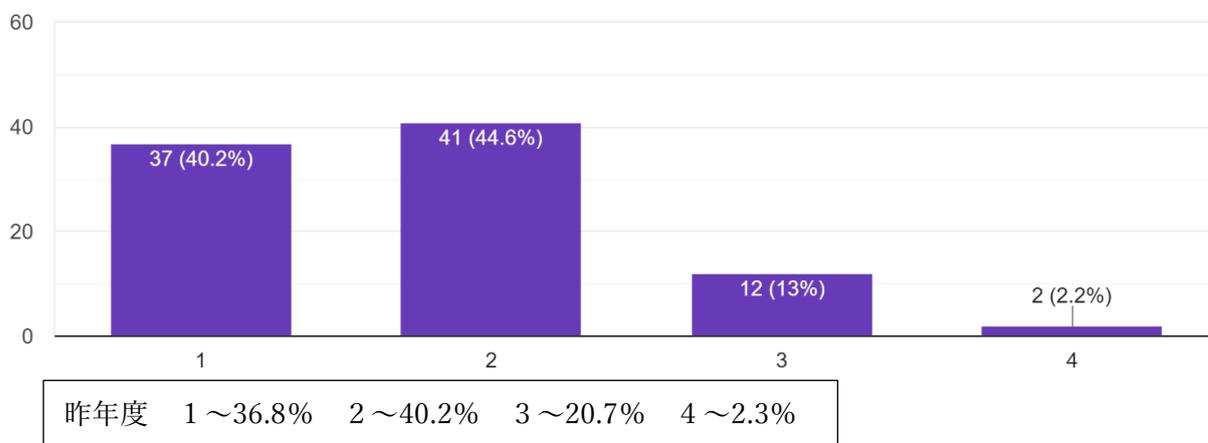
6 学校は、保護者や地域の方と関わる事ができる教育活動を進めている。

92件の回答



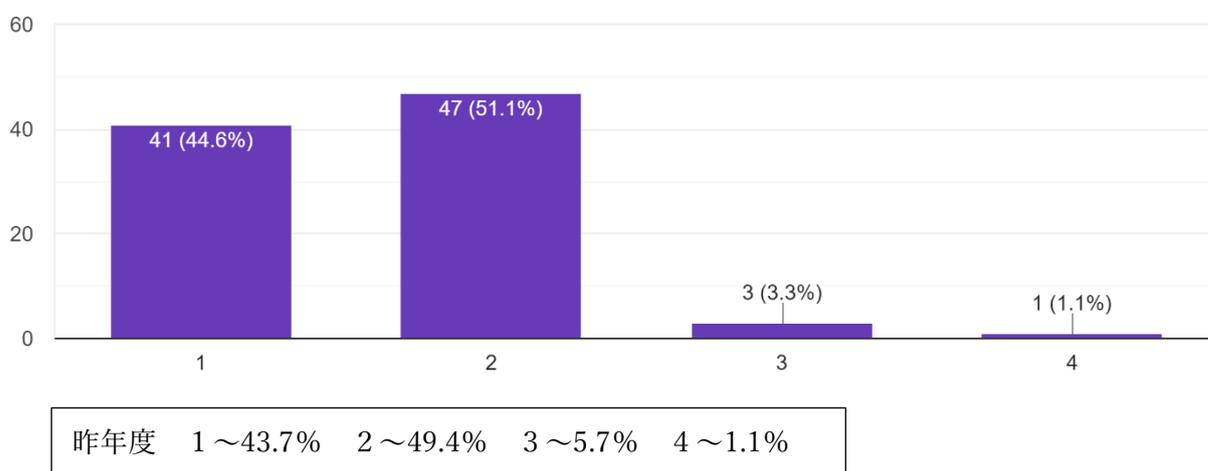
7 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行うなど、連携がきめ細かくできている。

92件の回答



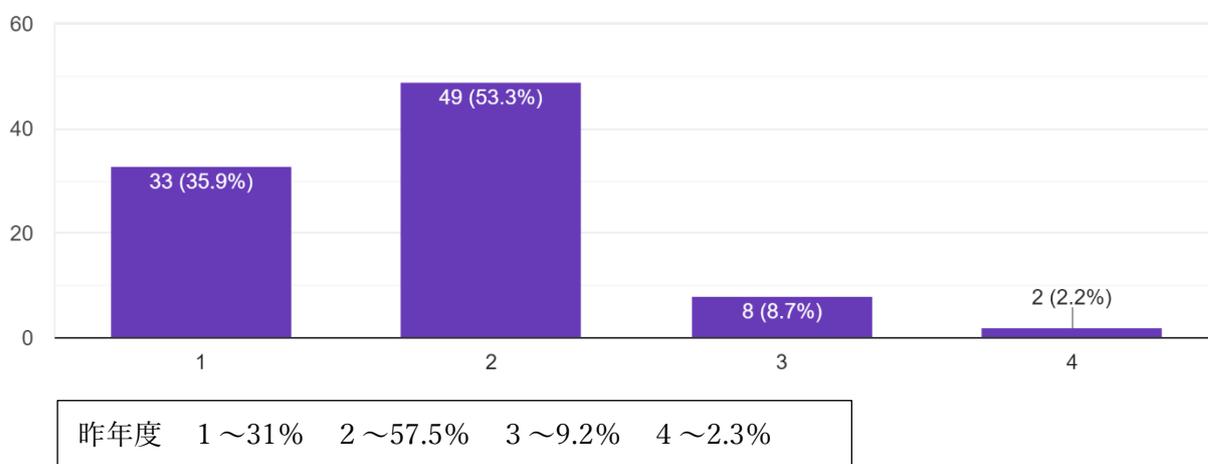
8 学校は、保護者からの連絡や相談に適切に対応することができる。

92件の回答



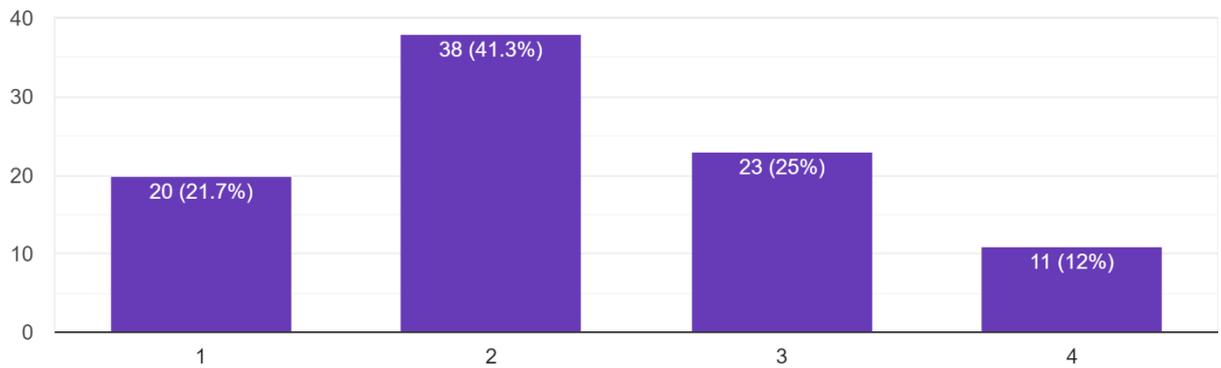
9 学校は、いじめや生徒指導上の問題に素早く適切に対応することができる。

92件の回答



10 お子さんは、家庭学習など主体的に学習し...分の課題に積極的に取り組むことができている。

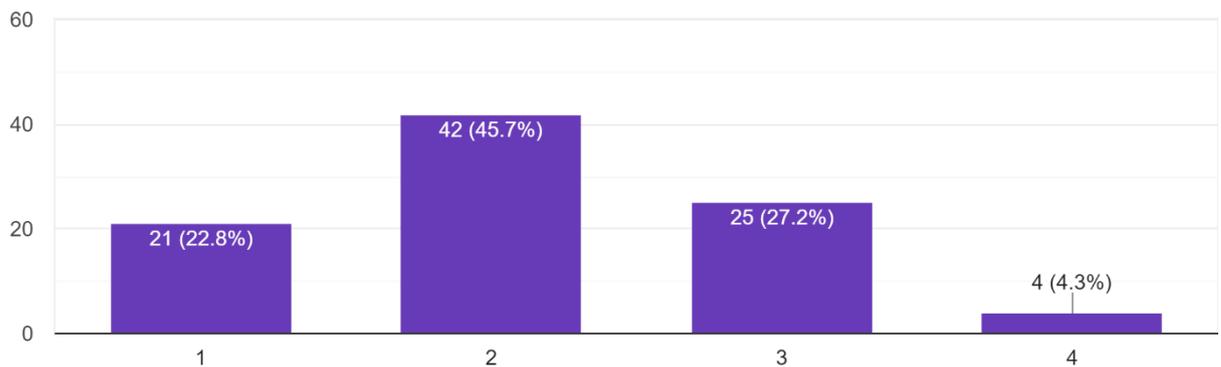
92件の回答



昨年度 1～21.8% 2～33.3% 3～29.9% 4～14.9%

11 お子さんは、授業がわかり基礎的な力を身に付けることができている。

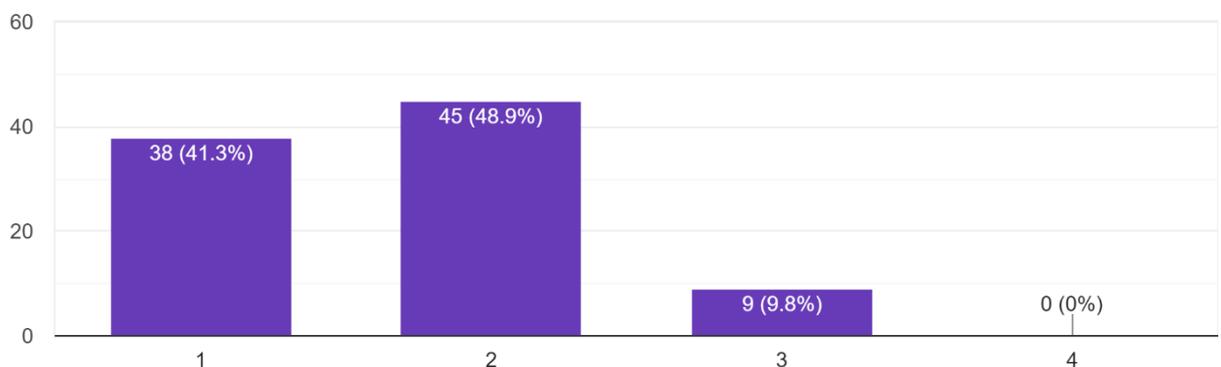
92件の回答



昨年度 1～13.8% 2～54% 3～26.4% 4～5.7%

12 お子さんは、人を思いやる優しい気持ちが育っている。

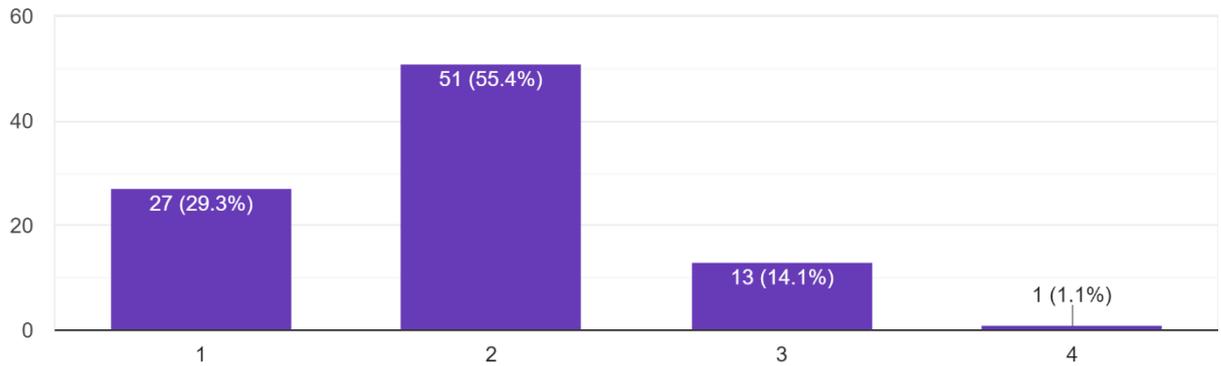
92件の回答



昨年度 1～28.7% 2～60.9% 3～8% 4～2.3%

13 お子さんは、日常のあいさつや返事、場に応じた言葉遣いなど礼儀が身についている。

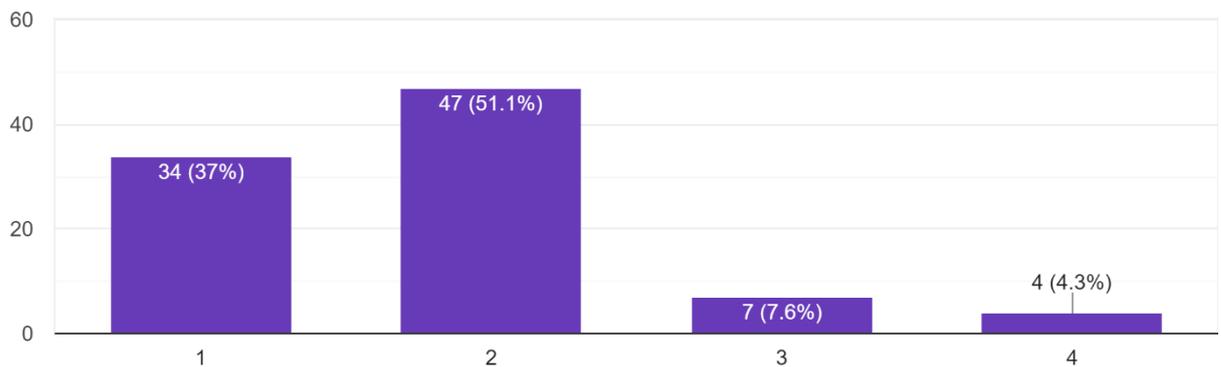
92件の回答



昨年度 1～19.5% 2～66.7% 3～13.8% 4～0%

14 お子さんは集団の決まりを守り、仲間と仲良く過ごすことができている。

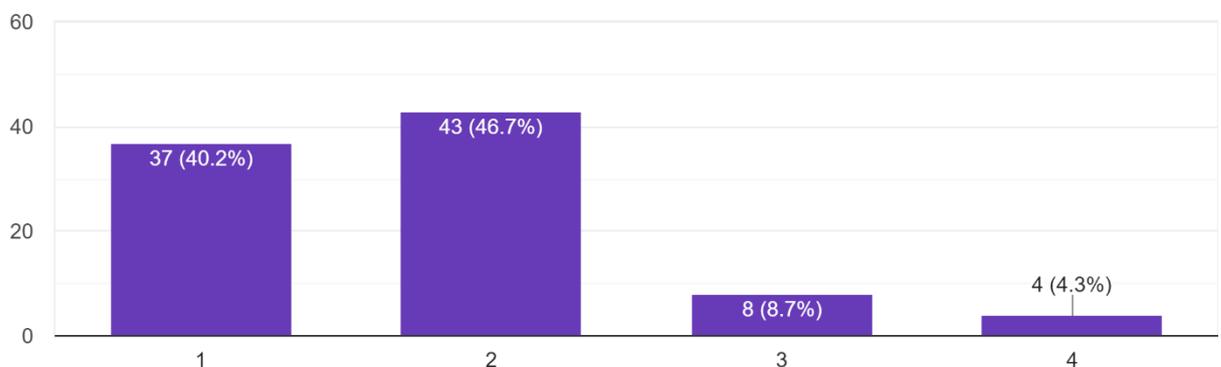
92件の回答



昨年度 1～35.6% 2～50.6% 3～10.3% 4～3.4%

15 お子さんは楽しく学校生活を送ることができている。

92件の回答



昨年度 1～44.8% 2～43.7% 3～8% 4～3.4%

まとめ

- ・ほとんどの項目で肯定的な回答が得られてる。現状に満足せず、少数の否定的な回答が少しでも減るように、向上できそうなものは工夫を重ねていく。
- ・ほとんどの項目で、「1よく当てはまる」の割合が向上しているが、唯一、15.「お子さんは、楽しく学校生活を送ることができている」については、下がっている
- ・記述回答の中に、気にとめておかなければならないものもあるので、今後の活動で改善できるものは行っていく。

16 これからの学校をよりよくするための、ご意見・ご要望をお聞かせください。

1	既に色々とお対応いただきありがとうございます。
2	なかなか登校できず様々な対応を提案して頂き助かっています。
3	定期テストを復活してほしい
4	欲を言えばですが、何も植えられていない花壇が寂しく感じます。予算の関係もあるので難しいことなのだと。
5	転勤の廃止
6	理科の自習の時間について。その時間できちんと理解し学習できていたのに、保護者からの意見で自習の時間がなくなってしまったそうです。それについて生徒に一度聞いてから決めてほしかったそうです。
7	いつもありがとうございます。他の中学の先生方の不満な対応などあちこちから聞いている中、とても愛菜は先生に恵まれているなぁと感じています。これからもよろしくお祈りします。
8	私は30代後半ですが、自分の頃からみると先生方がいろいろな配慮に気を配っていると思う。先生方のケアもよろしくお祈りしたい。
9	子供がプリントを出しません。なるべく重要な案内がある時は親に直通のメールシステムを活用して頂けると助かります。
10	時間割が子供のタブレットの方で管理されていますが、保護者あてにも配信などして頂けると有り難いと思っています。
11	隠したりしないことです。
12	定期テストは、全教科において再開が、必要ではないかなと、思っています。
13	単元テストの日程を保護者にも知らせてほしいです。
14	各教科の学習内容は、学校でしっかり教えてほしいと思います。
15	単元テストにはいまだ馴染みません
16	個人的には現状で満足しております。いつもありがとうございます！
17	生徒達が安心して学校生活を送れるよう見守っていただきたいと思います。
18	目まぐるしく変わる制度の中で、清園中は新しいことにも積極的に取り組んでいて素晴らしいと思います。でもその為なのか先生の平均年齢が低いこともあり、子ども達への対応で不安に思うところもあります。

17 今年度後期から実施している「チーム担任制」について、
ご感想・ご意見・ご要望をお聞かせください。

1	特になし
2	進路について不安があります。
3	よく実態がわからないのでなんとも言えない
4	今のところは、特に何も
5	色々な先生と関わっていい取り組みだ～と子供が言っていました。
6	年度途中での変更だったのでとても驚きましたが、ひとつの方法として前向きに捉えました。
7	良い試みだと思う。狙いと効果の検証をして、より良く進化して欲しい。
8	とてもいいアイデアだなと思います。まだまだ先生方の把握はできていませんが。
9	チームになった事で話しやすい先生に気軽に相談できるようになったのはいい事だと思います。
10	子どもからはやっぱり担任の先生がいいな～と聞きますが、3人の先生の味付けの違いを良い意味で楽しんでいると思います。
11	特に変わったという事が感じないけれど担任一人は大変だと思うので良いのではないのでしょうか…。
12	まだ始まったばかりなのでなんとも言えないですが、子供たちが先生に相談しやすい雰囲気を維持していただきたいです。
13	週ごとに担当される先生が居るようですが、あまり分からず休みの連絡等をする際に誰に繋いでもらえば良いのか少し分かりづらいつ感じています。
14	とても良いです。来年度も続けてほしいです！
15	子どもから学校が、楽しいといつも聞いていますので、安心出来る環境になっているのだと思います。
16	<p>とかが日程経過して、中卒生といふ年齢では尋常の担任の先生がいた方がいいと思つた。義務教育という立場、高校生とは違って、夢がなくても行かなくてはならない学校+親とのいざこざなど、いろいろな心の変化がある中で、ゆとりのある家庭の代わりになる生活・心の落ち着く場所となつたらいいなと思います。</p> <p>先生が交代する時に子供もクラス替えがあるのならまた別ですが、先生だけが移動して、大人のゲームかなにかに付き合われている様に見えるのでは無いかという気持ちがかかります。もっと落ち着いて生活ができれば、子供も大人も心が豊かになれるのではないかと思います。</p> <p>子供は恥ずかしい、勇気が無くて話せないことが多いですが、大人が積極的に笑顔を見せたり挨拶したり、気にかけているよ。の合図を出すだけでも子供たちは話しかけやすくなると思うので、担任は、受け持つクラスしか見てはいけないのではなくて、様々な子供たちに話かけることが出来ますし、仲良くなることもできます。</p> <p>担任がいることで「嫌」という感情が出ることもあるかもしれませんが、一人の大人と向き合つて一年を通して付き合っていくのは、子供にとっても経験と知恵がつくと思います。</p> <p>また、人と関わる難しさや、家庭でない人との付き合い方などゆっくり味わえるのが（向き合えるのが）義務教育の醍醐味だと感じます。先生も含めて、皆が敵ではなく仲間なんだという大切さが育まれていけばいいなと思います。</p>
17	始めはtotoruのアプリもなかった為、欠席、早退などの連絡をどの先生にしているのかわからず不安がありましたが、今はアプリ連絡もでき子供も学校生活の様子を帰宅後に話してくれる事が増えたので、良い取り組みだと思います。
18	良いと思います

19	<p>担任の先生がコロコロ変わるのは落ち着きがなく疲れます。</p> <p>3年生になる時に担任の先生が変わるのが不安です。</p> <p>頭ごなしに叱り付け生徒の意見に耳を傾けない、言わせない先生もいると聞きました。</p> <p>凄く不安です。</p> <p>今受験に向けてとても頑張っています。</p> <p>3年生なんて一瞬です。</p> <p>親としては高校受験に向けて集中して取り組んでほしい、先生との軋轢を避けたいのが本心です。</p>
20	<p>担任の先生は誰だょーとか子供との会話もあります。親としては自分の時とはちがうので、最初はどうかかなあ？と思いました。でも、先生の個性も違うので違う目線で子供のいい所も悪い所も見てもらえる事は子供にとってもプラスなことが多い気がしています。</p>
21	<p>1人の担任ではなく、広い視野や感じ方を数人で共有して子ども達をみれるのでとても良いと思う。</p>
22	<p>よくわかりません</p>
23	<p>複数の先生方に子どもをしっかり見ていただけるのは、良いのではないかと思います。</p>
24	<p>数人の先生が各々の子供のことを把握するのは良いことだと思う。また、授業の準備時間も取りやすくなるので、授業の質も上がると思った。</p>
25	<p>苦手な先生が担任になることもあるので、チーム担任制はいいと思います</p>
26	<p>本人が毎日、本当に楽しそうです。入学当初からも他のクラスの先生のお話も結構していたのですが、体制が変わってからより複数の先生方との会話ややり取りを耳にするようになった気がします。</p> <p>少し破天荒な部分もある子ですが、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
27	<p>関わる時間が少ない中複数の先生による複数の見方が出来るのは良い事だと思う。一方で、信頼出来る人間関係を構築するに当たって、1人1人と関わる時間が減る分、困った時に誰を頼って良いか、分からなくなる要素もあると思います。</p>
28	<p>担任の先生と合わないようなので助かります。</p>
29	<p>始まったばかりなのでまだわかりません。</p>
30	<p>今までは、1人の先生だけに色々な責任や仕事が集中して、大変だったと思いますが、チーム担任制にする事によって、先生の負担が分散されて余裕をもって、子供達に関われるのかなと思うので、よいと思います。又、チーム担任制になってから、自分の子供が病気で休む事になり、学校に電話をかけた際、対応して下さった先生が子供の状態を共有していると感じたので、安心しました。チーム担任制が始まった時は、先生達が代わる代わる担任をすると、生徒の状態が把握しづらく生徒が取り残されるのではないかと心配でしたが、今回の対応で少し安心しました。</p> <p>ただ、休んで遅れた分の勉強の内容が生徒にどのように後で伝えられるのかが気になりました。</p>
31	<p>良い</p>
32	<p>相談出来る先生が増えるということですが、1人の先生に相談が集中してしまう可能性もあるのではないのでしょうか？</p> <p>子どもの意見としてはクラスの区切りがなくなったようで嫌みたいです（それが良いこともありますよね）</p>

清園の風

教育活動についての保護者アンケートの結果について

昨年末に実施した保護者アンケートへのご協力に対しまして、心より感謝申し上げます。92件のご家庭からご意見を頂戴することができました（回収率 75.4%）。令和 4 年度の結果と比較しながら今年度（令和 5 年度）の結果を公表いたします。なお、アンケートは 4 段階で評価をいただきました。「1・2」回答（成果が上がった項目）で比較いたします。

1	学校は、経営方針や教育活動など、必要な情報を保護者や地域に伝えることができている。	令和 4 年度	93. 1%	令和 5 年度	93. 5%	前年比	↑
2	学校は、生徒一人一人が大切にされ、認められる教育ができている。	令和 4 年度	92. 0%	令和 5 年度	93. 5%	前年比	↑
3	学校の授業は工夫され、個を大切にした学習活動ができている。	令和 4 年度	82. 7%	令和 5 年度	84. 7%	前年比	↑
4	学校は、生徒の安全や健康に配慮することができている。	令和 4 年度	87. 4%	令和 5 年度	91. 3%	前年比	↑
5	学校は、校舎内外の清掃や整備に努め、よりよい環境づくりを行っている。	令和 4 年度	87. 4%	令和 5 年度	90. 2%	前年比	↑
6	学校は、保護者や地域の方と関わることでできる教育活動を進めている。	令和 4 年度	85. 1%	令和 5 年度	91. 3%	前年比	↑
7	学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行うなど、連携がきめ細かくできている。	令和 4 年度	77. 0%	令和 5 年度	84. 8%	前年比	↑
8	学校は、保護者からの連絡や相談に適切に対応することができている。	令和 4 年度	93. 1%	令和 5 年度	95. 7%	前年比	↑
9	学校は、いじめや生徒指導上の問題に素早く適切に対応することができている。	令和 4 年度	88. 5%	令和 5 年度	89. 2%	前年比	↑

3校連携スローガン「利他共生 ～ for you , with you ～」

重点目標

授業改革

心の改革

接続改革

小・中接続「利他共生」を実現する学校を創る

10	お子さんは、家庭学習など主体的に学習し、自分の課題に積極的に取り組むことができている。	令和 4 年度	55. 1%	令和 5 年度	63. 0%	前年比	↑
11	お子さんは、授業がわかり基礎的な力を身に付けることができている	令和 4 年度	67. 8%	令和 5 年度	68. 5%	前年比	↑
12	お子さんは、人を思いやる優しい気持ちが育っている。	令和 4 年度	89. 6%	令和 5 年度	90. 2%	前年比	↑
13	お子さんは、日常のあいさつや返事、場に応じた言葉遣いなどの礼儀が身についている。	令和 4 年度	86. 2%	令和 5 年度	84. 7%	前年比	↓
14	お子さんは、集団のきまりを守り、仲間と仲良く過ごすことができている。	令和 4 年度	76. 2%	令和 5 年度	88. 1%	前年比	↑
15	お子さんは楽しく学校生活を送ることができている。	令和 4 年度	88. 5%	令和 5 年度	86. 9%	前年比	↓

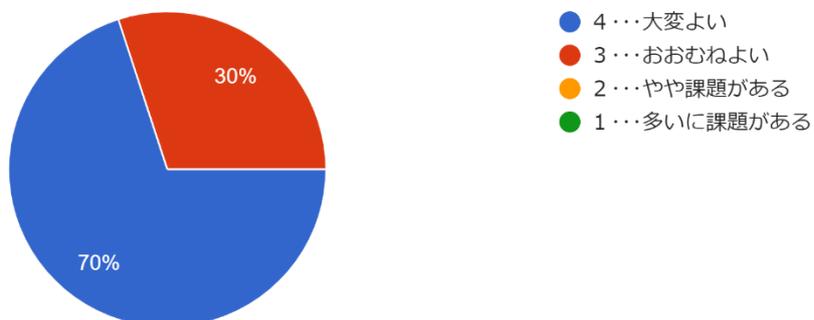
あわせて、「これからの学校をよりよくするため」のご意見をいただきました。「花壇の活用について」「定期テストについて」「単元テストの日程について」など改善・修正に関わるご助言等がございました。学校で検討し、子どもたちにとってより有効な手立てを考えて参ります。また、数多くの学校に対する温かい言葉かけもいただきました。教職員一同とても励みになっております。

今年度後期から始まった「チーム担任制」についてもご意見を伺い、数多くの感想、要望等をいただきました。大まかな集計ではございますが、肯定的なご意見が 65.6%。否定的なご意見が 9.4%、どちらの要素もあるというご意見が 9.4%。また、わからないという方が 15.6%となりました。いただいたご意見を参考にしながら、子どもたちはもちろんのこと保護者の皆様にとっても安心できる体制を一丸となって求め続けます。今回の結果を踏まえ、学校では引き続き保護者の皆様や地域の皆様にご協力いただきながら、「子どもたちの自己有用感のさらなる向上」を目ざし取り組んで参ります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

令和5年度 学校運営協議会 学校評価アンケート 結果

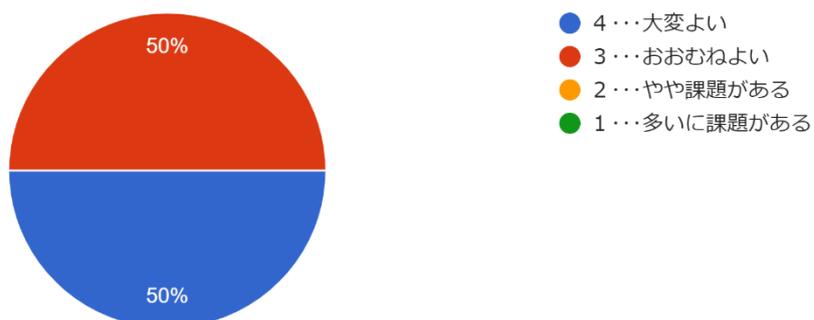
(1) 児童・生徒が、元気に生活している様子が見られますか？

10件の回答



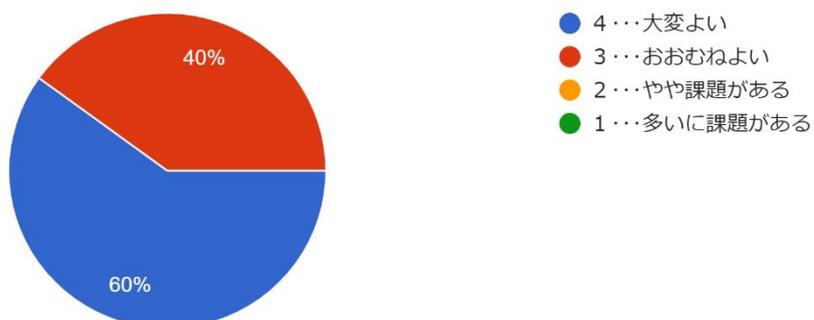
(2) 児童・生徒は、元気に挨拶ができていますか？

10件の回答



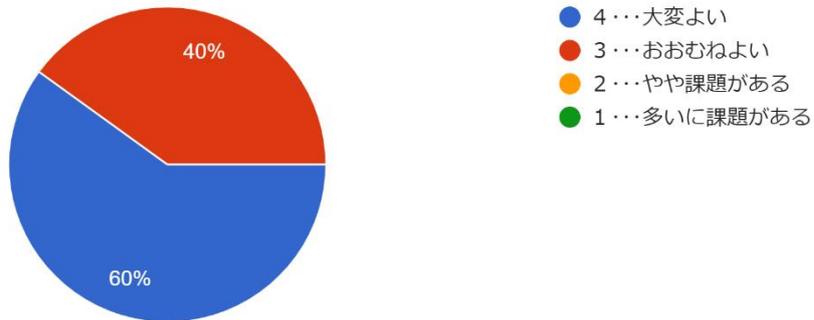
(3) 学校は、児童・生徒が安全に生活する環境が整っていますか？

10件の回答



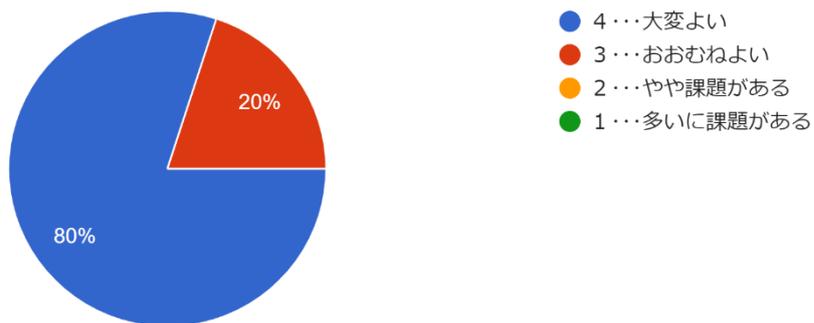
(4) 学校は、保護者や地域の期待される役割を果たしていますか？

10件の回答



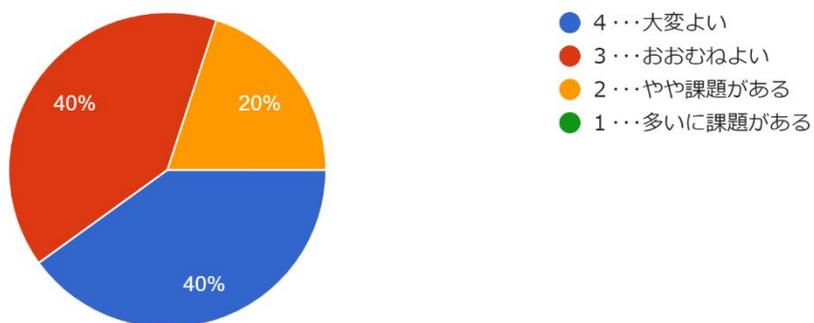
(5) 学校だよりなどで児童・生徒の様子が伝わっていますか？

10件の回答



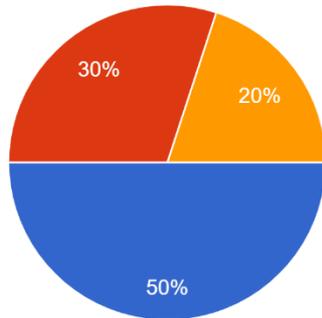
(6) 協議会の役割や運営の方針について全員で確認できていますか？

10件の回答



(7) 協議会からの意見をふまえた学校運営を行うことができますか？

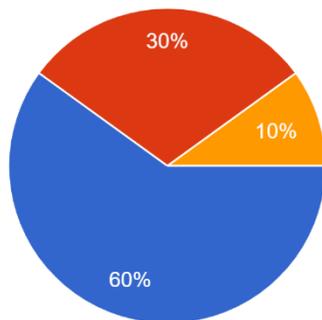
10件の回答



- 4・・・大変よい
- 3・・・おおむねよい
- 2・・・やや課題がある
- 1・・・多いに課題がある

(8) 学校運営に関して、率直な意見を述べることができますか？

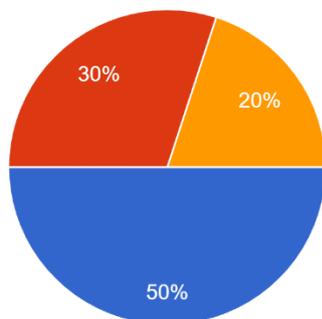
10件の回答



- 4・・・大変よい
- 3・・・おおむねよい
- 2・・・やや課題がある
- 1・・・多いに課題がある

(9) 地域の声が反映され、学校と地域が一体となった取組ができていますか？

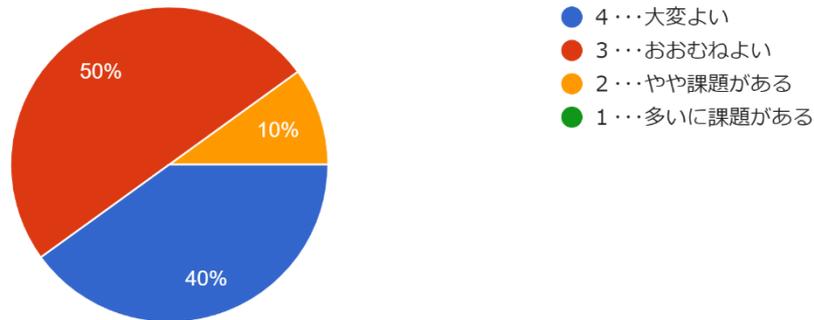
10件の回答



- 4・・・大変よい
- 3・・・おおむねよい
- 2・・・やや課題がある
- 1・・・多いに課題がある

(10) 協議会での協議内容について、十分な情報発信が行われていますか？

10件の回答



(11) 各学校の活動をご覧いただき、お気づきになった点を自由にお書きください。

- ・全ての学校で、子ども達が楽しそうに行事に参加していて微笑ましかったです
- ・今年度も子ども達の楽しそうな笑顔をたくさん見ることができて良かったです。真剣に行事に取り組む姿も素晴らしかったです。地域外の学校見学の機会があり見学してきましたが、その学校ではiPadがほぼ黒板がわりに使われていて、清園校区との違いに驚きました。
- ・子どもたちは、みんなが明るく元気で楽しそうにしているのを感じられます。登下校時に、先生たちが送り迎えすることは、すごくよいと思いました。
- ・将来子供たちが大人になった時の1つの選択肢としてのキャリア教育を今年1年間関わって、岩見沢市は外部の大人たちが積極的に参加しているのを見て、活気があり、地域全体が子供たちと共に学びを創っているなど感じていました。現代、働き方は昔に比べて選択肢が多く、より細分化されていると私は感じていて、その時代を生きる彼ら彼女らにとって、地元岩見沢で様々なキャリアを持つ方々の価値観に触れ、職業に触れることは、きっとこれからの人生の糧になると思いました。またここからは私の主観なのですが、未来構想の構築を見据えたキャリア教育は従来通り大事にしなが、より子供たちの「今」にフォーカスして、学びの幅を広げることにはできないのかと考えていました。断片的にしか出入りをしていない為、もうすでに各学校で実施しているかも知れないのですが、現在進行形で子供たちが取り組んでいくマイプロジェクト型の探求学習に興味がありました。近い例で言ったら、光陵中学校が開催している文化祭などが近いかと。大枠は私たち大人で作る、その一部分を工夫して学んでもらう。その小さな成功体験が子供たちの未来構想の構築を自発的に促進させる1つの材料になるのかなと考えていました。現在と未来、2軸であるからこそより明確に彼ら彼女らの未来に対する解像度が上がるのかなと。まとまりのない文章ですみません。今行っている未来構想の構築のためのキャリア教育はとても賛同して、僕も活動に参加をしています。

(12) そのほか、学校運営協議会全般にかかわりお気づきの点などありましたらご記入ください。

- ・職業体験は本当に良かったと思います。我が子にも体験させたかったなと思いました。毎年続く事を願います。是非、協力しますので声掛けてください!
- ・校区が大変広い地域であるため、委員同士の各課題について問題意識の共有が難しいと感じました。ですが、なるべく協議会に参加して各委員会と課題の共有をしていきたいと思っています。
- ・みなさまが地域のことを思い、何か子供たちにできることがないかと毎度打ち合わせでお話して

いる様子を見ていて、今の僕にできることがないかといつも帰り際に問いとして心の中に残っていました。清園中、メープル小、志文小合同での CA として、また同じ地域に暮らし、よりよい学びを創っていこうと思う者同士として、もう少しメンバー同士のコミュニケーションを取れる機会があれば、より 1 つのチームとしてまとまりができるのかなと感じていました。打ち合わせ前後に簡単にチェックイン/アウトや、チームビルディングのためのアイスブレイクなど、会議内容とは逸れますが、議題を一緒に考える仲間として必要な要素なのかと感じていました。

【事務局見解】

- ・おおむねよい評価をいただきましたが、協議会の運営方針の共通理解を図ったり運営委員の皆様と合意形成を図ったりしながら、推進していく必要があると考えています。次年度は、協議会委員の皆様同士がより近い関係を構築し、限られた時間の中で、本音で熟議ができるように、コミュニケーションの取り方や会議の持ち方を工夫していきます。
- ・今年度は、協議会委員の皆様のご協力により、子どもたちにとって魅力ある活動や安心・安全を守るための活動ができたと考えております。本当にありがとうございました。
- ・人が変わっても、持続可能な取組にしなければならないと考えます。清園中学校区の範囲が広いために、それぞれの地域・学校の課題も様々です。すべてを網羅して課題解決をしていくことは難しいですが、大人も子どもも知恵を出し合いながら、共通してできること、それぞれの地域や学校でできることを選び分けて、無理なく可能な範囲で取組を進めることが肝要と考えています。